

目 次

●ドイツ語Ⅰ (F27・28)	- 1 -
●ドイツ語Ⅰ (La～f)	- 2 -
●ドイツ語Ⅰ (K25・26)	- 3 -
●ドイツ語Ⅰ (P18・19)	- 4 -
●ドイツ語Ⅰ (E5～10)	- 5 -
●ドイツ語Ⅰ (D16・17)	- 6 -
●ドイツ語Ⅰ (M13～15)	- 7 -
●ドイツ語Ⅰ (T22B～23B)	- 8 -
●ドイツ語Ⅰ (T21B～22A)	- 9 -
●ドイツ語Ⅰ (M12)	- 10 -
●ドイツ語Ⅰ (M11)	- 11 -
●ドイツ語Ⅰ (T20A～21A)	- 12 -
●ドイツ語Ⅱ (F27～28)	- 13 -
●ドイツ語Ⅱ (La～f)	- 14 -
●ドイツ語Ⅱ (K25・26)	- 15 -
●ドイツ語Ⅱ (P18・19)	- 16 -
●ドイツ語Ⅱ (E5～10)	- 17 -
●ドイツ語Ⅱ (D16・17)	- 18 -
●ドイツ語Ⅱ (M13～15)	- 19 -
●ドイツ語Ⅱ (T22B～23B)	- 20 -
●ドイツ語Ⅱ (T21B～22A)	- 21 -
●ドイツ語Ⅱ (M12)	- 22 -
●ドイツ語Ⅱ (M11)	- 23 -
●ドイツ語Ⅱ (T20A～21A)	- 24 -
●ドイツ語Ⅲ (2M11・12)	25
●ドイツ語Ⅲ (2D16～17・2T20A～20B)	- 26 -
●ドイツ語Ⅲ (2K25・26)	- 27 -
●ドイツ語Ⅲ (2T21A～22A)	- 28 -
●ドイツ語Ⅲ (2T22B～23B)	- 29 -
●ドイツ語Ⅲ (2L1～2・2F27～28)	- 30 -
●ドイツ語Ⅲ (2P18・19)	- 31 -
●ドイツ語Ⅲ (2E5～10)	- 32 -
●ドイツ語Ⅳ (2M11・12)	- 33 -
●ドイツ語Ⅳ (2D16～17・2T20A～20B)	- 34 -
●ドイツ語Ⅳ (2K25・26)	- 35 -
●ドイツ語Ⅳ (2T21A～22A)	- 36 -
●ドイツ語Ⅳ (2T22B～23B)	- 37 -
●ドイツ語Ⅳ (2L1～2・2F27～28)	- 38 -
●ドイツ語Ⅳ (2P18・19)	- 39 -
●ドイツ語Ⅳ (2E5～10)	- 40 -

2010年度 前期	曜日・校時 月4 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590017001 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅰ (F27・28) German I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 302	
対象学生(クラス等) F27・28	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 山下 哲雄 / yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp / 非常勤講師控室 / 12校時後の昼休み、3校時後の休み時間			
担当教員	山下 哲雄		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい:ドイツ語の基本文法を習得し、ドイツ語を通してドイツに興味を持つ。</p> <p>授業方法(学習指導法):ドイツ語の学習で不可欠な動詞の人称変化を学生全員が慣れるまで「私は長崎へ行きます」や「私は長崎に住んでいます」などのドイツ語文を使い、主語を一人称、二人称、三人称そしてその単数と複数に換えて練習します。習熟度を見るために、二人一組で「あなたはどこへ行きますか」「私は長崎へ行きます」などの会話ゲームをします。これによって全員が難なく自然に発話できるようになります。</p> <p>次に名詞の性と定冠詞・不定冠詞などの1格から4格の格変化に慣れるために、男性名詞の「父は息子に叔父の万年筆をプレゼントします」、女性名詞の「母は娘に叔母のハンドバックをプレゼントします」、中性名詞の「少女は子供に童話のおもちゃをプレゼントします」の各文を発音します。習熟度を見るために「誰が息子に叔父の万年筆をプレゼントしますか」の質問に「父が息子に叔父の万年筆をプレゼントします」あるいは「父がそれを彼にプレゼントします」で答えるゲームをします。</p> <p>到達目標:学生がドイツ語文を人称変化や格変化にとらわれず滑らかに話すことができるようにすること。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
ドイツ語はインド・ヨーロッパ語と呼ばれる語族に属する西ゲルマン語であり、他に主な言語として英語がある。同じ語族の英語の知識を参考にしながら授業を進める。私のドイツ在住・通訳体験などのエピソードも授業に盛り込む。			
8/9 第16回 定期試験			
第1回 4/12 ビデオでドイツを紹介、ドイツ語で自己紹介			
第2回 4/19 動詞の現在人称変化(1)			
第3回 4/26 動詞の現在人称変化(2)			
第4回 5/10 冠詞と名詞(1)			
第5回 5/17 冠詞と名詞(2)			
第6回 5/24 第2回から5回までの復習			
第7回 6/7 現在人称変化(3)			
第8回 6/14 人称代名詞・冠詞類			
第9回 6/21 定形の位置			
第10回 6/28 第7回から9回までの復習			
第11回 7/5 前置詞			
第12回 7/12 話法の助動詞			
第13回 7/26 動詞の3基本形(1)			
第14回 1/31 動詞の3基本形(2)			
第15回 8/2 第11回から13回までの復習			
キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につく		
教科書・教材・参考書	『気分はドイツ』 著者: 本郷建治 他、(株)三修社		
成績評価の方法・基準等	小テスト(40%)、定期試験(50%)、授業中の発音・和訳・積極性(10%)		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 火1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590017002 授業科目/(英語名)	●ドイツ語 I (La～f) German I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 403	
対象学生(クラス等) La～f	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 清原 明代 / kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp / (非常勤) / / 授業前後の休み時間。またはEメールにて。			
担当教員	清原 明代		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: ドイツ語の初級文法を身につけ、単純な表現であれば理解し、自分でも表現できるようになることが第一の目的です。さらに、単なる試験科目としてではなく、異文化との関りや他者理解についての基本的視座を形成するための有効な方法として、言語学習に積極的に取り組めるようになってもらいたいと思います。 授業方法(学習指導法): 教科書に沿って文法を説明し、音読や練習問題、小テストを通して基礎を定着させます。また、ドイツ語圏の国々の文化や習慣について、適宜資料や音楽CDなども使いながら紹介してゆきます。 到達目標: (通年で)ドイツ語のしくみを理解し、辞書を用いながら平易な文章の読解や作文ができるようになること。また挨拶や自己紹介など、ドイツ語で簡単な受け答えができるようになること。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第2回目以降は授業の始めに小テストを行い、その後新しい事項の学習、練習問題等に取り組みます。 既習事項の復習や問題の答え合わせでは、学生を指名して質問に答えてもらいます。分からなければヒントを出して誘導するので、間違いを恐れずに積極的に授業に参加してください。			
第16回 8月3日 定期試験 第1回 4月13日 オリエンテーション ドイツ語のアルファベット 挨拶 第2回 4月20日 発音 動詞の現在人称変化(規則変化動詞) 第3回 4月27日 sein と haben コミュニケーション 第4回 5月11日 定動詞の位置 コミュニケーション 第5回 5月18日 名詞と定冠詞 格の用法 第6回 5月25日 名詞の複数形 第7回 6月1日 不定冠詞と所有冠詞 第8回 6月8日 否定冠詞と nicht 第9回 6月15日 数詞 日付や時刻の表現 第10回 6月22日 動詞の現在人称変化(不規則変化動詞) 第11回 6月29日 復習 第12回 7月6日 分離動詞 第13回 7月13日 前置詞1 第14回 7月20日 前置詞2 第15回 7月27日 命令形 復習			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書『改訂版・ドイツ語文法ガイドA-Z』同学社		
成績評価の方法・基準等	定期試験70% 小テスト20% 授業態度10%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 水2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590017004 授業科目/(英語名)	●ドイツ語 I (K25・26) German I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 301	
対象学生(クラス等) 1年次	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 葉柳 和則 / hayanagi@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部本館 4F 南側 / 819-2739 / 金曜日 14:30-16:00			
担当教員	葉柳 和則		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: ドイツ語の基本を身に付ける 授業方法(学習指導法): ポイントを押さえた文法解説と実践的練習のサイクルを軸にする。 到達目標: ドイツ語検定5級合格			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) NHK ラジオ講座講師・市川明氏の作成したテキストを使う。 第16回 試験 第1回 アルファベット 発音の規則 第2回 動詞の現在人称変化 sein 定動詞の位置 第3回 疑問詞1 あいさつ 第4回 名詞の性 冠詞 否定冠詞 第5回 複数形 haben 疑問詞2 第6回 名詞の4格 不規則変化 第7回 基数 金額 第8回 所有代名詞 人称代名詞の4格 第9回 時刻 名詞の3格 第10回 人称代名詞の3格 3.4格を目的語にする文 第11回 命令形 会話練習 第12回 過去形 前置詞1 第13回 助動詞 未来形 第14回 分離動詞 前置詞2 第15回 まとめ			
キーワード	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定		
教科書・教材・参考書	市川明 Guten Tag Berlin "neu" 郁文堂 (2010) 独和辞典については講義中に指示 (自分の判断で買わないこと)		
成績評価の方法・基準等	予習・復習の実行状況 (30%) 講義中の取り組み方 (30%) ○定期試験 (40%)		
受講要件(履修条件)	特になし		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	ドイツ語の基礎の基礎 独検5級合格		
備考(準備学習等)	予習、復習は必須 http://hayanagi-semi.web.infoseek.co.jp/		

2010年度 前期	曜日・校時 水2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590017003 授業科目/(英語名)	●ドイツ語 I (P18・19) German I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) P18・19	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 仲井 幹也 / m-nakai@nagasaki-u.ac.jp / 経済学部本館5階 524 研究室 / 820-6399(内線 399) / 水曜 12:00～12:50			
担当教員	仲井 幹也		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: ドイツ語の初級文法を現在時制(+未来形)の範囲内で学び、応用できるようにする。簡単な挨拶、数の表現等の日常生活で必要となるごく初歩的な会話もできるようにする。 授業方法(学習指導法): 教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をする。あわせて日独の生活習慣上の相違点なども機会あるごとに説明していく。 到達目標: やや盛りだくさんの教科書なので、全体の内容の最も基本的な六割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をする。第2回目までは特に予習の必要はないが、未知の単語の意味をしらべておくこと。第3回目以降から練習問題などの予習も必要となるが、文法説明を受ける以前にその文法事項を含んだ問題を予習しなければならないことがしばしば起こる。その場合はできる範囲で問題を解けばよい。予習で一番大事なのは、正解を見つけるのではなく、自分が何がわかり、何がわからなかったかをはっきりさせることです。			
第1回 辞書の説明、発音 第2回 発音、基数と西暦の読み方、現在人称変化、疑問詞 第3回 定冠詞、不定冠詞、格の用法 第4回 不規則動詞、命令形 第5回 定冠詞類、不定冠詞類、人称代名詞 第6回 名詞の複数形 第7回 nicht と kein、目的語の語順 第8回 前置詞 第9回 形容詞と形容詞の名詞化 第10回 話法の助動詞、未来形 第11回 序数と日付の表現 第12回 分離動詞、非分離動詞 第13回 従属接続詞と並列接続詞 第14回 間接疑問文 第15回 まとめ			
キーワード			
教科書・教材・参考書	小島/仲井『やあ、みんな!』同学社 (なお初回時に辞書の説明をするので、それまでは辞書を買わないでください。例年こちらが勧める以外の辞書を買って、後で困る人が出ています。参考書も特に買う必要はありません。)		
成績評価の方法・基準等	筆記試験で評価しますが、授業への参加状況も重視します。(筆記試験総点×授業への参加状況 0.8～1.2=成績) 従って授業をおろそかにする人は、試験が 60 点を越えても単位が取れないことがあります。みんなしっかり予習してきてください。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 水5 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590017005 授業科目/(英語名)	●ドイツ語 I (E5～10) German I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 103	
対象学生(クラス等) E5～10	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 小川 保博 / ogawa_yasuhiro@nias.ac.jp / 非常勤講師室 / 095-838-4589 / 非常勤控え室にて講義前後ならびにメールにて随時			
担当教員	小川 保博		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: ドイツ語の発音と文法の基礎をしっかり身につけ、コミュニケーションのための表現力と基礎的な読解力を養成し、自ら学習する際に立ち返れる「礎」を築くことが目的です。また、外国語を学ぶことで、異文化の理解への道筋をつけられれば、と考えています。 授業方法(学習指導法): 読み・書き・聴き・話すことを演習形式で繰り返えし、基本文例とその応用練習も含め、音読を重視します。また自宅学習用練習問題を課して、授業回数の少なさを補っていきます。 到達目標: 後期のドイツ語 II 終了時の到達目標の目安として、「ドイツ語検定試験(独検)」4級を想定しています。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 基本的には教科書の流れに沿って講義を進めていきます。教科書は各課「会話テキスト」、「キーセンテンス」、「ちょっと使える言い回し」、「会話テキストの日本語ヴァージョン」、「説明と練習問題」、Lesetext から成っています。ドイツ語 I で学習するテーマ文と文法項目は、1. Wie heisst du? [動詞の現在人称変化], 2. Hast du morgen Abend Zeit? [sein と haben の現在人称変化, 発音の都合上若干注意を要する動詞], 3. Dann nehme ich den Kaese 第1回 4月14日 文字と発音, 動詞の現在人称変化 第2回 4月21日 動詞の現在人称変化(1) 第3回 4月28日 sein, haben の現在人称変化 第4回 5月12日 名詞の性・数・格, 冠詞の格変化 第5回 5月19日 同上 第6回 5月26日 所有冠詞・否定冠詞, 名詞の複数形 第7回 6月2日 同上 第8回 6月9日 動詞の現在人称変化(2), 命令・依頼の表現, 疑問文 第9回 6月16日 同上 第10回 6月23日 定冠詞類の格変化, 3格の用法, 人称代名詞の格変化, wer と was 第11回 6月30日 同上 第12回 7月7日 前置詞 第13回 7月14日 同上 第14回 7月21日 話法の助動詞, 分離動詞 第15回 7月28日 同上			
キーワード			
教科書・教材・参考書	新野守広他著『シュトラッセ・ノイ』(朝日出版社)・参考書: 独和辞典		
成績評価の方法・基準等	定期試験、出欠状況、授業への取り組み方、レポート学習状況を鑑み総合的に評価します。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木4 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590017006 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅰ (D16・17) German I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 103	
対象学生(クラス等) D16・17	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 目 正勝 / mksakka@xqb.biglobe.ne.jp / 非常勤講師室 / 096-322-0277 / 質問等はメールにて随時受け付ける			
担当教員	目 正勝		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: ドイツ語文法の基礎を学習する。 例文に付けられた解説と練習問題を通じて、文法を理解し、語彙を増やし、正確な発音を身につけ、ドイツ語文読解のための確実な土台をつくる。 テキストのドイツ語文やその他の記事を読んで、ドイツの歴史、地理や文化、また現代ドイツの諸事情についても理解を深める。 授業方法(学習指導法): テキストに従いながら、文法の解説と練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。 発音やドイツ語文の朗読練習もする。独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。 到達目標: 正確な発音で読める。初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) テキストは12課から成っている。2回半の授業で1課を終えるぐらいのペースで、前期は第6課まで進む。 まず発音規則を覚え込むことから始め、その後、名詞や動詞などの語形変化、文の構造の把握、助動詞の用法などが続く。 分離動詞や前置詞の用法まで進む。 教室では、文法の説明のあと、練習問題にできるだけ多く取り組む。前もって単語の意味を調べておかなければならない。 発音や語形変化を繰り返し繰り返し練習する。 折に触れて小テストをする。 第16回目(8月5日)に前期末の試験を行う。 第1回 4月15日 文字と発音、アルファベットの名称を覚える。 第2回 4月22日 第一課、動詞の現在人称変化。 第3回 5月6日 第一課の続き、動詞の現在人称変化、練習問題。 第4回 5月13日 第一課の続き、第二課、名詞と冠詞、格、定冠詞、不定冠詞。 第5回 5月20日 第二課の続き、名詞、冠詞の格変化、名詞の複数形、練習問題。 第6回 5月27日 第二課の続き、第三課、定冠詞型、不定冠詞型、疑問代名詞。 第7回 6月3日 第三課の続き、練習問題。 第8回 6月10日 第三課の続き、第四課、不規則動詞、人称代名詞など。 第9回 6月17日 第四課の続き、不規則動詞、命令形、練習問題。 第10回 6月24日 第四課の続き、練習問題。 第11回 7月1日 第五課、話法の助動詞、未来の助動詞、語順。 第12回 7月8日 第五課の続き、練習問題、命令。 第13回 7月15日 第六課、複合動詞。 第14回 7月22日 第六課の続き、zu不定詞、前置詞、練習問題。 第15回 7月29日 第六課の続き、前置詞、練習問題。			
キーワード			
教科書・教材・参考書	「さあ窓をあけよう！—新正書法版—」 山口知三、加藤丈雄 著、朝日出版社		
成績評価の方法・基準等	定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。		
受講要件(履修条件)	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。		
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木5 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590017007 授業科目/(英語名)	●ドイツ語 I (M13～15) German I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 103	
対象学生(クラス等) M13～15	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 目 正勝 / mksakka@xqb.biglobe.ne.jp / 非常勤講師室 / 096-322-0277 / 質問等はメールで随時受け付ける			
担当教員	目 正勝		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 発音、初級文法、語彙、文の構造把握など、ドイツ語の「読む、聞く、話す」を総合的に学習する。平易なドイツ語文テキストや練習問題を通じて、文法を理解し、語彙を増やし、正確な発音を身につけ、ドイツ語文読解のための確実な土台をつくる。 テキストやその他の記事を読んで、ドイツの歴史、文化や地理、また現代ドイツの諸事情について理解を深める。 授業方法(学習指導法): テキストに従って進む。 まず発音規則を覚え込むことから始める。その後、名詞や動詞などの語形変化、文の構造の把握などが続く。 教室では、文法の説明のあと、まとめの練習問題、テキストの本文の和訳に取り組む。前もって単語の意味を調べておかなければならない。 テキストの音読やテープによるリスニングの練習も行う。 到達目標: 正確な発音で読める。初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 簡単な会話文であれば聞き取ったり、発話したりすることができる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) テキストに従って進む。テキストは12課から成っている。2回半の授業で1課を終えるペースで、前期は6課まで進む。まず発音規則を覚え込むことから始める。その後、名詞や動詞などの語形変化、文の構造の把握などが続く。 教室では、文法の説明のあと、まとめの練習問題、テキストの本文の和訳に取り組む。前もって単語の意味を調べておかなければならない。 発音や語形変化は繰り返し繰り返し練習する。 テキストの音読やテープによるリスニングの練習も行う。 折に触れて小テストをする。 第16回目(8月5日)に前期末の試験を行う。 第1回 4月15日 文字と発音、アルファベットの名称を覚える。 第2回 4月22日 第一課、動詞の現在人称変化。 第3回 5月6日 第一課の続き、動詞の現在人称変化、練習問題。 第4回 5月13日 第一課の続き、第二課、特殊な動詞の変化。 第5回 5月20日 第二課の続き、不規則動詞の現在人称変化、練習問題。 第6回 5月27日 第二課の続き、第三課、定冠詞、不定冠詞。 第7回 6月3日 第三課の続き、格の用法、人称代名詞、練習問題。 第8回 6月10日 第三課の続き、疑問代名詞、練習問題。 第9回 6月17日 第四課、定冠詞型、不定冠詞型。 第10回 6月24日 第四課の続き、名詞の複数形、練習問題。 第11回 7月1日 第五課、前置詞。 第12回 7月8日 第五課の続き、前置詞の融合形、練習問題。 第13回 7月15日 第六課、形容詞の格変化。 第14回 7月22日 第六課の続き、比較級と最高級、練習問題。 第15回 7月29日 第六課の続き、序数、練習問題。			
キーワード			
教科書・教材・参考書	「はじめてのドイツ語コミュニケーション」 小川さくえ、片岡律子 他著、白水社		
成績評価の方法・基準等	定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。		
受講要件(履修条件)	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 金1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590017009 授業科目/(英語名)	●ドイツ語 I (T22B～23B) German I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) T22B-23B	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 小川 眞由美 / mayumi_o_k@yahoo.co.jp / 非常勤講師控室 / / 授業時間 (金曜1時限) の前後 Eメールでも受け付ける mayumi_o_k@yahoo.co.jp			
担当教員	小川 眞由美		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:新しい外国語を知り、英語圏以外の文化に触れる。ドイツ語の論理性に着目し、言葉全体を考えることにつながるようなドイツ語学習。 授業方法(学習指導法):テキストに沿って文法説明・練習問題など。 到達目標:発音ができる。初級文法を理解する。初級のドイツ語表現ができる。			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 毎回出席をとるときに返事をするだけでなく、問題に答える あるいは 自分から質問をするなど、一人一人の参加で成立する授業。 第16回 8月6日 定期試験 第1回 4月16日 ドイツ語を学ぶ意義 ドイツ語学習への導入 第2回 4月23日 発音 第3回 4月30日 挨拶 第4回 5月 7日 動詞の人称変化 第5回 5月14日 同上 第6回 5月21日 名詞の性 第7回 5月28日 名詞の格変化 第8回 6月 4日 同上 第9回 6月11日 文の形 第10回 6月18日 動詞の不規則な変化 第11回 6月25日 人称代名詞 第12回 7月 2日 疑問代名詞 第13回 7月 9日 前置詞 第14回 7月16日 前置詞の格支配 第15回 7月23日 前期の復習			
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキスト:「ドイツ語インフォメーション(新訂版)」 秋田・江口ほか著 朝日出版社		
成績評価の方法・基準等	定期試験 70% 授業への取組状況 30% を基本に総合的に評価する		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 金1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590017008 授業科目/(英語名)	●ドイツ語 I (T21B～22A) German I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 301	
対象学生(クラス等) T21B～22A	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 目 正勝 / mksakka@xqb.biglobe.ne.jp / 非常勤講師室 / 096-322-0277 / 質問等はメールで随時受け付ける			
担当教員	目 正勝		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: ドイツ語文法の基礎を学習する。 解説と練習問題を通じて、ドイツ語文法を理解し、語彙を増やし、正確な発音を身につけ、ドイツ語文読解のための確実な土台をつくる。 テキストのドイツ語文やその他の記事を読んで、ドイツの歴史、地理や文化、また現代ドイツの諸事情についても理解を深める。 授業方法(学習指導法): テキストに従いながら、文法の解説と練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。 発音やドイツ語文の朗読練習もする。独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。 到達目標: 正確な発音で読める。初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) テキストは 15 課から成っている。2 回の授業で 1 課を終えるぐらいの速度で進む。前期の予定は第 7 課まで。 まず発音規則を覚え込むことから始め、その後、名詞や動詞などの語形変化、文の構造の把握、前置詞の用法などが続く。形容詞の格変化、比較級、最高級まで進む。 教室では、文法の説明のあと、練習問題にできるだけ多く取り組む。前もって単語の意味を調べておかなければならない。発音や語形変化は繰り返し繰り返し練習する。 折に触れて小テストをする。第 16 回目(8 月 6 日)に前期末の試験を行う。 第 1 回 4 月 16 日 第一課、文字と発音、アルファベットの名称を覚える。 第 2 回 4 月 23 日 第一課の続き、第二課、動詞、不定詞と定動詞。 第 3 回 4 月 30 日 第二課の続き、動詞の現在人称変化、練習問題。 第 4 回 5 月 7 日 第二課の続き、動詞の位置、接続詞。 第 5 回 5 月 14 日 第三課、名詞、冠詞の各変化。 第 6 回 5 月 21 日 第三課の続き、接続詞と定動詞の位置、練習問題。 第 7 回 5 月 28 日 第四課、注意すべき動詞の現在人称変化。 第 8 回 6 月 4 日 第四課の続き、命令法、練習問題。 第 9 回 6 月 11 日 第五課、名詞の複数形。 第 10 回 6 月 18 日 第五課の続き、冠詞類、練習問題。 第 11 回 6 月 25 日 第六課、前置詞の用法。 第 12 回 7 月 2 日 第六課の続き、人称代名詞、練習問題。 第 13 回 7 月 9 日 第七課、形容詞の格変化。 第 14 回 7 月 16 日 第七課の続き、形容詞の比較級、その他の比較表現、練習問題。 第 15 回 7 月 23 日 第七課の続き、最高級、絶対最高級など、練習問題。			
キーワード			
教科書・教材・参考書	「基礎ドイツ文法(第二版)」 小島一良、瀬戸武彦 著、白水社		
成績評価の方法・基準等	定期試験(約 90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約 10%)を考慮して評価する。		
受講要件(履修条件)	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 金3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590017010 授業科目/(英語名)	●ドイツ語 I (M12) German I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 301	
対象学生(クラス等) M12	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 目 正勝 / mksakka@xqb.biglobe.ne.jp / 非常勤講師室 / 096-322-0277 / 質問等はメールで随時受け付ける			
担当教員	目 正勝		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい: ドイツ語文法の基礎を学習する。 解説と練習問題を通じて、文法を理解し、語彙を増やし、正確な発音を身につけ、ドイツ語文読解のための確実な土台をつくる。 テキストのドイツ語文やその他の記事を読んで、ドイツの歴史、地理や文化、また現代ドイツの諸事情についても理解を深める。</p> <p>授業方法(学習指導法): テキストに従いながら、文法の解説と練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。 発音やドイツ語文の朗読練習もする。独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。</p> <p>到達目標: 正確な発音で読める。初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>テキストは12課から成っている。2回半の授業で1課を終えるぐらいの速度。前期は第6課まで進む。 まず発音規則を覚え込むことから始め、その後、名詞や動詞などの語形変化、文の構造の把握、助動詞の用法などが続く。非人称代名詞や不定代名詞の用法まで進む。 教室では、文法の説明のあと、練習問題にできるだけ多く取り組む。前もって単語の意味を調べておかなければならない。 発音や語形変化を繰り返し繰り返しする。 折に触れて小テストをする。第16回目(8月6日)に前期末の試験を行う。</p> <p>第1回 4月16日 文字と発音、アルファベットの名称を覚える。 第2回 4月23日 第一課、動詞の現在人称変化。 第3回 4月30日 第一課の続き、動詞の現在人称変化、練習問題。 第4回 5月7日 第一課の続き、第二課、名詞と冠詞、格、定冠詞、不定冠詞。 第5回 5月14日 第二課の続き、名詞、冠詞の各変化、名詞の複数形、練習問題。 第6回 5月21日 第二課の続き、第三課、定冠詞型、不定冠詞型。疑問代名詞。 第7回 5月28日 第三課の続き、練習問題。 第8回 6月4日 第三課の続き、第四課、不規則動詞、人称代名詞など。 第9回 6月11日 第四課の続き、不規則動詞、命令形、練習問題。 第10回 6月18日 第四課の続き、練習問題、第五課、話法の助動詞。 第11回 6月25日 第五課の続き、未来の助動詞、語順。 第12回 7月2日 第五課の続き、練習問題、命令、第六課、複合動詞。 第13回 7月9日 第六課の続き、複合動詞、zu 不定詞。 第14回 7月16日 第六課の続き、前置詞、練習問題。 第15回 7月23日 第六課の続き、前置詞、練習問題。</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	「さあ窓をあけよう！—新正書法版—」 山口知三、加藤丈雄 著、朝日出版社		
成績評価の方法・基準等	定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。		
受講要件(履修条件)	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 金4 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590017011 授業科目/(英語名)	●ドイツ語 I (M11) German I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) M11	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 古賀 正之 / / 非常勤講師控室 / 095-819-2078(全学教育事務室) / 金曜日休み時間(教室のみ)			
担当教員	古賀 正之		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。 授業方法(学習指導法): 下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、適宜ドイツの社会と文化に関するビデオを見て、レポートを提出してもらう。 到達目標: ドイツ語 I で学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 1、発音 2、初級文法 3、コミュニケーション 4、文化・社会事情 第16回目 8月6日 定期試験 第1回 4月16日 テーマ: あいさつ(1)/人と知り合う/紹介(名前・出身地・居住地・職業・趣味) 文法: アルファベット/発音/人称代名詞/動詞の現在人称変化(規則動詞、sein)/疑問文の種類と答え方/疑問詞 第2回 4月23日 // 第3回 4月30日 // 第4回 5月7日 テーマ: 時刻/あいさつ(2)/時を表す表現(1)/人を誘う/アドレスとケータイ番号を尋ねる/食べ物と飲み物/メール 文法: 動詞の現在人称変化(haben、不規則動詞)/ドイツ語の語順(定動詞第2位の原則、疑問文の語順) 第5回 5月14日 // 第6回 5月21日 // 第7回 5月28日 テーマ: 道の尋ね方・答え方/位置・方向を表す語/建物など/~してください/持ってる? 持っていない? 文法: du と Sie/命令形/名詞の性/定冠詞と不定冠詞/冠詞と名詞の格変化(1・4格)/否定冠詞(1・4格)/所有冠詞(1・4格) 第8回 6月4日 // 第9回 6月11日 // 第10回 6月18日 // 第11回 6月25日 テーマ: 買い物/値段/プレゼント/気に入った?/家族・親戚 文法: 名詞と冠詞の3格/複数形/人称代名詞の格変化/前置詞(1)/否定の語を含む疑問文とその答え方 第12回 7月2日 // 第13回 7月9日 // 第14回 7月16日 // 第15回 7月23日 前期のまとめ(文法の補足等を含む)			
キーワード	正確な発音と初級文法の習得		
教科書・教材・参考書	「アプファールト スキットで学ぶドイツ語」 CD付き 飯田/江口 三修社 独和辞典は当面は不要。授業開始後必要に応じて紹介する。		
成績評価の方法・基準等	○定期試験(40%)、平常点(60%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、基本文法確認レポートおよびビデオに関するレポートの提出状況(または小テストの結果)から算定する。		
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 /それによって新たな知的視野を広げること。		
備考(準備学習等)	平素より基本文法確認レポートを自分で調べ、完成させておくことが望ましい。		

2010年度 前期	曜日・校時 金5 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590017012 授業科目/(英語名)	●ドイツ語 I (T20A～21A) German I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) T20A～21A	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 古賀 正之 / / 非常勤講師控室 / 095-819-2078(全学教育事務室) / 金曜日休み時間(教室のみ)			
担当教員	古賀 正之		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。 授業方法(学習指導法): 下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、適宜ドイツの社会と文化に関するビデオを見て、レポートを提出してもらう。 到達目標: ドイツ語 I で学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 1、発音 2、初級文法 3、コミュニケーション 4、文化・社会事情 第16回目 8月6日 定期試験 第1回 4月16日 つづり字の読み方と発音 挨拶をする 第2回 4月23日 " " 第3回 4月30日 動詞の人称変化、文の作り方 知り合いになる 第4回 5月7日 " " 第5回 5月14日 文法上の性と格 食べ物の注文をする 第6回 5月21日 " " 第7回 5月28日 冠詞類 買い物の相談をする 第8回 6月4日 " " 第9回 6月11日 不規則変化動詞、命令形 食事の相談をする 第10回 6月18日 " " 第11回 6月25日 前置詞の格支配 どこに行くか尋ねる 第12回 7月2日 " " 第13回 7月9日 複数形 市場で果物などを買う 第14回 7月16日 " " 第15回 7月23日 前期のまとめ(文法の補足)			
キーワード	正確な発音と初級文法の習得		
教科書・教材・参考書	「新生ドイツ文法」 V5 在間進 朝日出版社 独和辞典は当面は不要。授業開始後必要に応じて紹介する。		
成績評価の方法・基準等	○定期試験(40%)、平常点(60%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、基本文法確認レポートおよびビデオに関するレポートの提出状況(または小テストの結果)から算定する。		
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 /それによって新たな知的視野を広げること。		
備考(準備学習等)	平素より基本文法確認レポートを自分で調べ、完成させておくことが望ましい。		

2010年度 後期	曜日・校時 月4 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590019001 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅱ (F27～28) German II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 302	
対象学生(クラス等) F27・28	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 山下 哲雄 / yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp / 非常勤講師控室 / 12校時後の昼休み、3校時後の休み時間			
担当教員	山下 哲雄		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: ドイツ語の学習で不可欠な動詞の人称変化を学生全員が慣れるまで「私は長崎へ行きます」や「私は長崎に住んでいます」などのドイツ語文を使い、主語を一人称、二人称、三人称そしてその単数と複数に換えて練習します。習熟度を見るために、二人一組で「あなたはどこへ行きますか」「私は長崎へ行きます」などの会話ゲームをします。これによって全員が難なく自然に発話できるようになります。 次に名詞の性と定冠詞・不定冠詞などの1格から4格の格変化に慣れるために、男性名詞の「父は息子に叔父の万年筆をプレゼントします」、女性名詞の「母 授業方法(学習指導法): 二人一組でドイツ語会話を繰り返し、音に慣れる。 到達目標: 学生がドイツ語文を人称変化や格変化にとらわれず滑らかに話すことができるようにすること。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) ドイツ語はインド・ヨーロッパ語と呼ばれる語族に属する西ゲルマン語であり、他に主な言語として英語がある。同じ語族の英語の知識を参考にしながら授業を進める。私のドイツ在住・通訳体験などのエピソードも授業に盛り込む。			
2/14 第16回 定期試験 第1回 10/4 現在完了形(1) 第2回 10/18 現在完了形(2) 第3回 10/25 分離動詞 第4回 11/1 形容詞 第5回 11/8 第1回から4回までの復習 第6回 11/15 再起動詞・esの用法 第7回 11/22 関係代名詞(1) 第8回 11/29 関係代名詞(2) 第9回 12/6 受動態 第10回 12/13 第6回から9回までの復習 第11回 12/20 接続法(1) 第12回 1/17 接続法(2) 第13回 1/24 分詞・zu不定詞 第14回 1/31 第11回から13回までの復習 第15回 2/7 ビデオでドイツを見る			
キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につく		
教科書・教材・参考書	『気分はドイツ』 著者： 本郷建治 他、(株)三修社		
成績評価の方法・基準等	小テスト(40%)、定期試験(50%)、授業中の発音・和訳・積極性(10%)		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 火1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590019002 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅱ (La～f) German II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 403	
対象学生(クラス等) La～f	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 清原 明代 / kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp / (非常勤) / / 授業前後の休み時間。またはEメールにて。			
担当教員	清原 明代		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: ドイツ語の初級文法を身につけ、単純な表現であれば理解し、自分でも表現できるようになることが第一の目的です。さらに、単なる試験科目としてではなく、異文化との関りや他者理解についての基本的視座を形成するための有力な方法として、言語学習に積極的に取り組めるようになってもらいたいと思います。 授業方法(学習指導法): 教科書に沿って文法を説明し、音読や練習問題、小テストを通して基礎を定着させます。また、ドイツ語圏の国々の文化や習慣について、適宜資料や音楽CDなども使いながら紹介してゆきます。 到達目標: ドイツ語のしくみを理解し、辞書を用いながら平易な文章の読解や作文ができるようになること。また挨拶や自己紹介など、ドイツ語で簡単な受け答えができるようになること。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 毎回授業の始めに小テストを行い、その後新しい事項の学習、練習問題等に取り組みます。 既習事項の復習や問題の答え合わせでは、学生を指名して質問に答えてもらいます。分からなければヒントを出して誘導するので、間違いを恐れずに積極的に授業に参加してください。			
第16回 2月8日 定期試験 第1回 10月5日 前期の復習 現在分詞 不定代名詞 man 第2回 10月12日 動詞の3基本形 第3回 10月19日 完了形 第4回 10月26日 形容詞1 第5回 11月 2日 形容詞2 第6回 11月 9日 比較 第7回 11月16日 助動詞 第8回 11月30日 接続詞 第9回 12月 7日 再帰動詞 第10回 12月14日 zu 不定詞 第11回 12月21日 復習 クリスマスについて 第12回 1月11日 関係代名詞 第13回 1月18日 受動態 第14回 1月25日 関係代名詞と受動態の復習 第15回 2月 1日 一年間の復習 補足			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書『改訂版・ドイツ語文法ガイドA-Z』同学社		
成績評価の方法・基準等	定期試験70% 小テスト20% 授業態度10%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 水2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590019004 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅱ (K25・26) German II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 402	
対象学生(クラス等) 1年次	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 葉柳 和則 / hayanagi@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部本館 4F 南側 / 819-2739 / 金曜日 14:30-16:00			
担当教員	葉柳 和則		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: ドイツ語の初級レベルの実力の完成 授業方法(学習指導法): ドイツ語Ⅰと同じテキストの後半を、ポイント解説と実践練習のサイクルの中でマスターする 到達目標: ドイツ語検定4級合格			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第16回 試験 第1回 ドイツ語Ⅰの復習 第2回 分離動詞 第3回 再帰代名詞 並列接続詞 第4回 従属接続詞 序数 第5回 現在完了 2格 第6回 非人称 不定代名詞 第7回 形容詞 不定詞 第8回 間接疑問 形容詞の名詞化 第9回 受動態1 関係代名詞 第10回 受動態2 分詞 第11回 助動詞の過去形 第12回 接続法2式 第13回 接続法1式 第14回 会話練習 文法練習 第15回 会話練習 文法練習			
キーワード	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定		
教科書・教材・参考書	市川明 Guten Tag Berlin! "neu" 郁文堂 (2010)		
成績評価の方法・基準等	予習・復習の実行状況 (30%) 講義中の取り組み方 (30%) ○定期試験 (40%)		
受講要件(履修条件)	独和辞典を持っていること		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	ドイツ語の基礎を確実にする ドイツ語検定4級合格		
備考(準備学習等)	予習・復習は必須 http://hayanagi-semi.web.infoseek.co.jp/		

2010年度 後期	曜日・校時 水2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590019003 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅱ (P18・19) German II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) P18・19	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 仲井 幹也 / m-nakai@nagasaki-u.ac.jp / 経済学部本館5階524研究室 / 820-6399(内線399) / 水曜12:00～12:50			
担当教員	仲井 幹也		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: すべての時制でドイツ語の初級文法を学び、平易な文章であれば、辞書さえ使えば自分ひとりで読めるようにする。また道順の説明、序数の表現等の日常生活で必要となるごく初歩的な表現もおぼえる。授業中の質問に対する答え、練習問題への解答は、そのつど授業への参加状況(0.8～1.2)に反映させます。 授業方法(学習指導法): 教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をする。あわせて日独の生活習慣上の相違点なども機会あるごとに説明していく。 到達目標: やや盛りだくさんの教科書なので、全体の内容の最も基本的な六割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をする。練習問題などの予習が必要となるが、文法説明を受ける以前にその文法事項を含んだ問題を解く場合は、できる範囲で解けばよい。予習で大事なことは正解を見つけることではなく、自分が何がわかり何がわからなかったかをはっきりさせることです。 第1回 動詞の三基本形、過去 第2回 現在完了 第3回 過去完了、未来完了 第4回 再帰動詞 第5回 zu 不定詞 第6回 es の用法 第7回 比較 第8回 受動態 第9回 関係代名詞 第10回 指示代名詞 第11回 不定関係代名詞、関係副詞 第12回 接続法(1) 第13回 接続法(2) 第14回 総復習 第15回 総復習			
キーワード			
教科書・教材・参考書	小島/仲井『やあ、みんな!』同学社		
成績評価の方法・基準等	筆記試験で評価しますが、授業への参加状況も重視します。(筆記試験総点×授業への参加状況0.8～1.2=成績)従って授業をおろそかにする人は、60点を越えても単位が取れないことがあります。みんなしっかり予習してきてください。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 水5 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590019005 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅱ (E5～10) German II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 205	
対象学生(クラス等) E5～10	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 小川 保博 / ogawa_yasuhiro@nias.ac.jp / 非常勤控え室 / 095-838-4589 / 非常勤控え室にて講義前後ならびにメールにて随時			
担当教員	小川 保博		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: ドイツ語の発音と文法の基礎をしっかり身につけ、コミュニケーションのための表現力と基礎的な読解力を養成し、自ら学習する際に立ち返れる「礎」を築くことが目的です。また、外国語を学ぶことで、異文化の理解への道筋をつけられれば、と考えています。 授業方法(学習指導法): 読み・書き・聴き・話すことを演習形式で繰り返えし、基本文例とその応用練習も含め、音読を重視します。また自宅学習用練習問題を課して、授業回数の少なさを補っていきます。 到達目標: 全授業終了時の到達目標の目安として、「ドイツ語検定試験(独検)」4級を想定しています。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 基本的には教科書の流れに沿って講義を進めていきます。教科書は各課「会話テキスト」、「キーセンテンス」、「ちょっと使える言い回し」、「会話テキストの日本語ヴァージョン」、「説明と練習問題」、Lesetext から成っています。ドイツ語Ⅱで学習するテーマ文と文法項目は、1. Was hast du in den Sommerferien gemacht? [動詞の3基本形, 現在完了], 2. Wann warst du In Koeln? [過去人称変化, 接続詞と副文, 副詞句], 3. Am 23. Oktober w 第1回 10月 6日 動詞の3基本形, 現在完了 第2回 10月13日 同上 第3回 10月20日 過去形, 接続詞と副文 第4回 10月27日 同上 第5回 11月10日 受動態, 序数・日付 第6回 11月17日 同上 第7回 11月24日 非人称表現, zu 不定詞句 第8回 12月 1日 同上 第9回 12月 8日 形容詞の用法, 比較表現 第10回 12月15日 同上 第11回 12月22日 再帰代名詞と再帰動詞 第12回 1月12日 同上 第13回 1月19日 関係文: 定関係代名詞 第14回 1月26日 関係文: 不定関係代名詞 第15回 2月 3日 非現実話法・接続法第二式一			
キーワード			
教科書・教材・参考書	新野守広他著『シュトラッセ・ノイ』(朝日出版社)・参考書: 独和辞典		
成績評価の方法・基準等	定期試験、出欠状況、授業への取り組み方、レポート学習状況を鑑み総合的に評価します。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 木4 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590019006 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅱ (D16・17) German II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 103	
対象学生(クラス等) D16・17	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 目 正勝 / mksakka@xqb.biglobe.ne.jp / 非常勤講師室 / 096-322-0277 / 質問等はメールで随時受け付ける			
担当教員	目 正勝		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: ドイツ語文法の基礎を学習する。 例文に付けられた解説と練習問題を通じて、文法を理解し、語彙を増やし、正確な発音を身につけ、ドイツ語文読解のための確実な土台つくる。 テキストのドイツ語文やその他の記事を読んで、ドイツの歴史、地理や文化、また現代ドイツの諸事情についても理解を深める。 授業方法(学習指導法): テキストに従いながら、文法の解説と練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。 発音やドイツ語文の朗読練習もする。独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。 到達目標: 正確な発音で読める。初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 前期に引き続いて、テキストに従って進む。 過去、現在完了では、動詞の三基本形を覚える。形容詞の格変化や比較級、最高級の用法へと進んだ後、関係代名詞、受動態などを学ぶ。仮定表現まで進んで、ドイツ語文法の全体像をつかむ。 折に触れて小テスト、レポート提出などを課す。 教室では、文法の説明のあと、練習問題にできるだけ多く取り組む。前もって単語の意味を調べておかなければならない。 発音や語形変化は繰り返し繰り返し練習する。 第16回目(2月10日)に後期末の試験を行う。 第1回 10月7日 第七課、動詞の三基本形。 第2回 10月14日 第七課の続き、過去と現在完了、練習問題。 第3回 10月21日 第七課の続き、第八課、形容詞の格変化。 第4回 10月28日 第八課の続き、形容詞の名詞化、練習問題。 第5回 11月4日 第八課の続き、第九課、比較表現。 第6回 11月11日 第九課の続き、再帰動詞、練習問題。 第7回 11月18日 第九課の続き、練習問題。 第8回 11月25日 第十課、関係代名詞。 第9回 12月2日 第十課の続き、指示代名詞、完了形の補足、練習問題。 第10回 12月9日 第十課の続き、練習問題。 第11回 12月16日 第十一課、受動態、非人称動詞、練習問題。 第12回 1月6日 第十一課の続き、練習問題。 第13回 1月13日 第十二課、接続法の人称変化。 第14回 1月20日 第十二課の続き、非現実話法、練習問題。 第15回 1月27日 第十二課の続き、間接話法、練習問題。			
キーワード			
教科書・教材・参考書	「さあ窓をあけよう！—新正書法版—」 山口知三、加藤丈雄 著、朝日出版社		
成績評価の方法・基準等	定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。		
受講要件(履修条件)	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 木5 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590019007 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅱ (M13～15) German II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 103	
対象学生(クラス等) M13～15	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 目 正勝 / mksakka@xqb.biglobe.ne.jp / 非常勤講師室 / 096-322-0277 / 質問等はメールで随時受け付ける			
担当教員	目 正勝		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 発音、初級文法、語彙、文の構造把握など、ドイツ語の「読む、聞く、話す」を総合的に学習する。平易なドイツ語文テキストや練習問題を通じて、文法を理解し、語彙を増やし、正確な発音を身につけ、ドイツ語文読解のための確実な土台をつくる。 テキストやその他の記事を読んで、ドイツの歴史、文化や地理、また現代ドイツの諸事情について理解を深める。 授業方法(学習指導法): テキストに従って進む。 まず発音規則を覚え込むことから始める。その後、名詞や動詞などの語形変化、文の構造の把握などが続く。 教室では、文法の説明のあと、まとめの練習問題、テキストの本文の和訳に取り組む。前もって単語の意味を調べておかなければならない。 テキストの音読やテープによるリスニングの練習も行う。 到達目標: 正確な発音で読める。初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 簡単な会話文であれば聞き取ったり、発話したりすることができる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 前期に引き続いて、テキストに従って進む。 話法の助動詞、複合動詞の用法について学習した後、過去、現在完了では、動詞の三基本形を覚える。続いて、再帰動詞、関係代名詞、受動態などを学ぶ。 折に触れて小テスト、レポート提出などを課す。 教室では、文法の説明のあと、練習問題にできるだけ多く取り組む。前もって単語の意味を調べておかなければならない。 発音や語形変化は繰り返し繰り返し練習する。 第16回目(2月10日)に後期末の試験を行う。 第1回 10月7日 第七課、話法の助動詞。 第2回 10月14日 第七課の続き、未来形、練習問題。 第3回 10月21日 第七課の続き、第八課、分離動詞。 第4回 10月28日 第八課の続き、非分離動詞、接続詞、練習問題。 第5回 11月4日 第八課の続き、第九課、動詞の三基本形。 第6回 11月11日 第九課の続き、過去人称変化、練習問題。 第7回 11月18日 第九課の続き、練習問題。 第8回 11月25日 第十課、現在完了。 第9回 12月2日 第十課の続き、過去完了形、練習問題。 第10回 12月9日 第十課の続き、練習問題。 第11回 12月16日 第十一課、再帰代名詞、再帰動詞。 第12回 1月6日 第十一課の続き、zu不定詞、練習問題。 第13回 1月13日 第十一課の続き、非人称動詞、受動態。 第14回 1月20日 第十二課、関係代名詞。 第15回 1月27日 第十二課の続き、不定関係代名詞、練習問題。			
キーワード			
教科書・教材・参考書	「はじめてのドイツ語コミュニケーション」 小川さくえ、片岡律子 他著、白水社		
成績評価の方法・基準等	定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。		
受講要件(履修条件)	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 金1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590019009 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅱ (T22B～23B) German II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) T22B-23B	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 小川 眞由美 / mayumi_o_k@yahoo.co.jp / 非常勤講師控室 / / 授業(金曜日1時限)の前後 Eメールでも受け付ける mayumi_o_k@yahoo.co.jp			
担当教員	小川 眞由美		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:新しい外国語を知り、英語圏以外の文化に触れる。ドイツ語の論理性に着目し、言葉全体を考えることにつながるようなドイツ語学習。 授業方法(学習指導法):テキストに沿って文法説明・練習問題など。 到達目標:発音ができる。初級文法を理解する。初級のドイツ語表現ができる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 毎回出席をとるときに返事をするだけでなく、問題に答える あるいは 自分から質問をするなど 一人一人の参加で成立する授業。 第16回 2月4日 定期試験 第1回 10月1日 夏休みの総括 ドイツ語の歌 第2回 10月8日 話法の助動詞 第3回 10月15日 分離動詞 第4回 10月22日 命令文 第5回 10月29日 時刻表現 第6回 11月5日 形容詞 第7回 11月12日 再帰動詞代名詞 第8回 11月26日 動詞の三基本形 第9回 12月3日 過去形 第10回 12月10日 現在完了形 第11回 12月17日 同上 第12回 12月24日 映画鑑賞 第13回 1月7日 従属文 第14回 1月21日 補足事項 第15回 1月28日 後期の復習			
キーワード			
教科書・教材・参考書	「ドイツ語インフォメーション(新訂版)」 秋田・江口ほか著 朝日出版社		
成績評価の方法・基準等	定期試験 70% 授業への取組状況 30% を基本に総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 金1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590019008 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅱ (T21B～22A) German II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) T21B～22A	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 目 正勝 / mksakka@xqb.biglobe.ne.jp / 非常勤講師室 / 096-322-0277 / mksakka@xqb.biglobe.ne.jp			
担当教員	目 正勝		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: ドイツ語文法の基礎を学習する。 解説と練習問題を通じて、ドイツ語文法を理解し、語彙を増やし、正確な発音を身につけ、ドイツ語文読解のための確実な土台をつくる。 テキストのドイツ語文やその他の記事を読んで、ドイツの歴史、地理や文化、また現代ドイツの諸事情についても理解を深める。 授業方法(学習指導法): テキストに従いながら、文法の解説と練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。 発音やドイツ語文の朗読練習もする。独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。 到達目標: 正確な発音で読める。初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 前期に引き続いて、テキストに従って進む。 過去、現在完了では、動詞の三基本形を覚える。分離動詞や話法の助動詞へと進んだ後、受動態、関係代名詞などを学ぶ。仮定表現まで進んで、ドイツ語文法の全体像をつかむ。 折に触れて小テスト、レポート提出などを課す。 教室では、文法の説明のあと、練習問題にできるだけ多く取り組む。前もって単語の意味を調べておかなければならない。 発音や語形変化は繰り返し繰り返し練習する。 第16回目(2月4日)に後期末の試験を行う。 第1回 10月1日 第八課、動詞の三基本形。 第2回 10月8日 第八課の続き、過去人称変化、定動詞の位置、練習問題。 第3回 10月15日 第九課、枠構造、未来形。 第4回 10月22日 第九課の続き、話法の助動詞、練習問題。 第5回 10月29日 第十課、現在完了、過去完了。 第6回 11月5日 第十課の続き、話法の助動詞の完了、練習問題。 第7回 11月12日 第十一課、複合動詞。 第8回 11月26日 第十一課の続き、zu不定詞、練習問題。 第9回 12月3日 第十二課、再帰動詞。 第10回 12月10日 第十二課の続き、非人称動詞、練習問題。第十三課、受動態。 第11回 12月17日 第十三課の続き、受動態、受動表現、練習問題。 第12回 12月24日 第十四課、関係代名詞。 第13回 1月7日 第十四課の続き、指示代名詞、練習問題。 第14回 1月21日 第十五課、接続法。 第15回 1月28日 第十五課の続き、非現実話法(仮定表現)、間接話法、練習問題。			
キーワード			
教科書・教材・参考書	「基礎ドイツ文法(第二版)」 小島一良、瀬戸武彦 著、白水社		
成績評価の方法・基準等	定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。		
受講要件(履修条件)	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 金3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590019010 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅱ (M12) German II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) M12	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 目 正勝 / mksakka@xqb.biglobe.ne.jp / 非常勤講師室 / 096-322-0277 / mksakka@xqb.biglobe.ne.jp			
担当教員	目 正勝		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: ドイツ語文法の基礎を学習する。 解説と練習問題を通じて、文法を理解し、語彙を増やし、正確な発音を身につけ、ドイツ語文読解のための確実な土台をつくる。 テキストのドイツ語文やその他の記事を読んで、ドイツの歴史、地理や文化、また現代ドイツの諸事情についても理解を深める。 授業方法(学習指導法): テキストに従いながら、文法の解説と練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。 発音やドイツ語文の朗読練習もする。独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。 到達目標: 正確な発音で読める。初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 前期に引き続いて、テキストに従って進む。 過去、現在完了では、動詞の三基本形を覚える。形容詞の格変化や比較級、最高級の用法へと進んだ後、関係代名詞、受動態などを学ぶ。仮定表現まで進んで、ドイツ語文法の全体像をつかむ。 折に触れて小テスト、レポート提出などを課す。 教室では、文法の説明のあと、練習問題にできるだけ多く取り組む。前もって単語の意味を調べておかなければならない。 発音や語形変化は繰り返し繰り返し練習する。 第16回目(2月4日)に後期末の試験を行う。 第1回 10月1日 第七課、動詞の三基本形。 第2回 10月8日 第七課の続き、過去と現在完了、練習問題。 第3回 10月15日 第七課の続き、第八課、形容詞の格変化。 第4回 10月22日 第八課の続き、形容詞の名詞化、練習問題。 第5回 10月29日 第八課の続き、第九課、比較表現。 第6回 11月5日 第九課の続き、再帰動詞、練習問題。 第7回 11月12日 第九課の続き、練習問題。 第8回 11月26日 第十課、関係代名詞。 第9回 12月3日 第十課の続き、指示代名詞、完了形の補足、練習問題。 第10回 12月10日 第十課の続き、練習問題。 第11回 12月17日 第十一課、受動態、非人称動詞、練習問題。 第12回 12月24日 第十一課の続き、練習問題。 第13回 1月7日 第十二課、接続法の人称変化。 第14回 1月21日 第十二課の続き、非現実話法、練習問題。 第15回 1月28日 第十二課の続き、間接話法、練習問題。			
キーワード			
教科書・教材・参考書	「さあ窓をあけよう！一新正書法版一」 山口知三、加藤丈雄 著、朝日出版社		
成績評価の方法・基準等	定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。		
受講要件(履修条件)	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 金4 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590019011 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅱ (M11) German II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) M11	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 古賀 正之 / / 非常勤講師控室 / 095-819-2078(全学教育事務室) / 金曜日休み時間(教室のみ)			
担当教員	古賀 正之		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、接続法を除くほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。 授業方法(学習指導法): 下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、適宜ドイツの社会と文化に関するビデオを見て、レポートを提出してもらう。 到達目標: ドイツ語Ⅱで学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 1、発音 2、初級文法 3、コミュニケーション 4、文化・社会事情 第16回目 2月4日 定期試験 第1回 10月1日 テーマ: 週末や休暇の予定/天候/一日の行動・日常生活 文法: 分離動詞/前置詞と定冠詞の融合形/話法の助動詞/非人称のes/日常生活で使う分離動詞/分離動詞に似た使い方を表す表現/形容詞 第2回 10月8日 // 第3回 10月15日 // 第4回 10月22日 テーマ: 過去のできごと(1)/時を表す表現(2) 文法: 過去分詞/現在完了 第5回 10月29日 // 第6回 11月5日 // 第7回 11月12日 テーマ: 過去のできごと(2)/位置の表現/~がある/遅刻/メルヒェン 文法: 過去基本形/過去時制/前置詞(2)/es gibt... 第8回 11月26日 // 第9回 12月3日 テーマ: 修理/家事/開店時間・閉店時間/料理/比較の表現 文法: 受動文/再帰代名詞と再帰動詞/比較級・最上級 第10回 12月10日 // 第11回 12月17日 // 第12回 12月24日 テーマ: ふたつの文をひとつにする/病気/色 文法: zu不定詞句/従属の接続詞と副文/関係文 第13回 1月7日 // 第14回 1月21日 // 第15回 1月28日 第15回 後期のまとめ(文法の補足)			
キーワード	正確な発音と初級文法の習得		
教科書・教材・参考書	「アプファールト スキットで学ぶドイツ語」 CD付き 飯田/江口 三修社		
成績評価の方法・基準等	○定期試験(40%)、平常点(60%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、基本文法確認レポートおよびビデオに関するレポートの提出状況(または小テストの結果)から算定する。		
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 /それによって新たな知的視野を広げること。		
備考(準備学習等)	平素より基本文法確認レポートを自分で調べ、完成させておくことが望ましい。		

2010年度 後期	曜日・校時 金5 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590019012 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅱ (T20A～21A) German II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) T20A～21A	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 古賀 正之 / / 非常勤講師控室 / 095-819-2078(全学教育事務室) / 金曜日休み時間(教室のみ)			
担当教員	古賀 正之		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、接続法を除くほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。 授業方法(学習指導法): 下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、適宜ドイツの社会と文化に関するビデオを見て、レポートを提出してもらう。 到達目標: ドイツ語Ⅱで学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 1、発音 2、初級文法 3、コミュニケーション 4、文化・社会事情 第16回目 2月4日 定期試験 第1回 10月1日 形容詞の格変化、人称代名詞 空腹などを訴える 第2回 10月8日 〃 第3回 10月15日 話法の助動詞、未来形 外出に誘う 第4回 10月22日 〃 第5回 10月29日 分離動詞、再帰代名詞、再帰動詞 駅で列車の出発時刻などを尋ねる 第6回 11月5日 〃 第7回 11月12日 ZU不定詞 相談にのってくれるように頼む 比較表現 物事を比べる 第8回 11月26日 〃 第9回 12月3日 三基本形、過去人称変化、接続詞 ぶつぶつ文句を言う 第10回 12月10日 〃 第11回 12月17日 現在完了形、過去完了形 何をしたかを尋ねる 第12回 12月24日 〃 第13回 1月7日 受動形 招待される 関係文 休暇の計画を立てる 第14回 1月21日 〃 第15回 1月28日 後期のまとめ(文法の補足)			
キーワード	正確な発音と初級文法の習得		
教科書・教材・参考書	「新生ドイツ文法」 V5 在間進 朝日出版社		
成績評価の方法・基準等	○定期試験(40%)、平常点(60%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、基本文法確認レポートおよびビデオに関するレポートの提出状況(または小テストの結果)から算定する。		
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 /それによって新たな知的視野を広げること。		
備考(準備学習等)	平素より基本文法確認レポートを自分で調べ、完成させておくことが望ましい。		

2010年度 前期	曜日・校時 月2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590021001 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅲ (2M11・12) German III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 302	
対象学生(クラス等) 2M11・12	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 山下 哲雄 / yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp / 非常勤講師控室 / 12校時後の昼休み、3校時後の休み時間			
担当教員	山下 哲雄		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ人の会話を通して知る。 授業方法(学習指導法): 会話の中に出る初級文法の復習をし、会話内容を理解し、滑らかに発話できるように発音練習をする。 到達目標: 学生がこの授業でドイツの生活・文化を理解し、ドイツに興味を持ち、ドイツへ留学したいと思えるようになること。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) ドイツでの日常生活の各場面に基づく会話を、自分の生活環境に置き換え、身近な言葉にして言語の習得を実現する。 第16回目 8月9日 定期試験 第1回 4/12 ビデオでドイツを紹介、自己紹介 第2回 4/19 自分の一日の生活 第3回 4/26 旅行 第4回 5/10 空港、駅の窓口 第5回 5/17 レストランで注文する 第6回 5/24 食事の勘定を支払う 第7回 6/7 ペンションを電話で予約する 第8回 6/14 郵便局はどこですか 第9回 6/21 この近くにスーパーはありますか 第10回 6/28 日本への手紙はいくらですか 第11回 7/5 そちらの天気はどうですか 第12回 7/12 雨が降れば、何をしますか 第13回 7/26 誕生日に辞書をプレゼントしたらいいかしら 第14回 7/30 (金) カメラ店で 第15回 8/2 ドイツのお祝い			
キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につく		
教科書・教材・参考書	『スツェーネン 2』場面で学ぶドイツ語 著者： 佐藤修子 他、(株)三修社		
成績評価の方法・基準等	小テスト (40%)、定期試験 (50%)、授業中の発音・和訳・積極性(10%)		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 月3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590021002 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅲ (2D16～17・2T20A～20B) German III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 302	
対象学生(クラス等) 2D16・17、2T20A～20B	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 山下 哲雄 / yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp / 非常勤講師控室 / 12校時後の昼休み、3校時後の休み時間			
担当教員	山下 哲雄		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ人の会話を通して知る。 授業方法(学習指導法): 会話の中に出る初級文法の復習をし、会話内容を理解し、滑らかに発話できるように発音練習をする。 到達目標: 学生がこの授業でドイツの生活・文化を理解し、ドイツに興味を持ち、ドイツへ留学したいと思えるようになること。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) ドイツでの日常生活の各場面に基づく会話を、自分の生活環境に置き換え、身近な言葉にして言語の習得を実現する。 第16回目 8月9日 定期試験 第1回 4/12 ビデオでドイツを紹介、自己紹介 第2回 4/19 自分の一日の生活 第3回 4/26 旅行 第4回 5/10 空港、駅の窓口 第5回 5/17 レストランで注文する 第6回 5/24 食事の勘定を支払う 第7回 6/7 ペンションを電話で予約する 第8回 6/14 郵便局はどこですか 第9回 6/21 この近くにスーパーはありますか 第10回 6/28 日本への手紙はいくらですか 第11回 7/5 そちらの天気はどうですか 第12回 7/12 雨が降れば、何をしますか 第13回 7/26 誕生日に辞書をプレゼントしたらいいかしら 第14回 7/30 (金) カメラ店で 第15回 8/2 ドイツのお祝い			
キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につく		
教科書・教材・参考書	『スツェーネン 2』場面で学ぶドイツ語 著者： 佐藤修子 他、(株)三修社		
成績評価の方法・基準等	小テスト (40%)、定期試験 (50%)、授業中の発音・和訳・積極性(10%)		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 火2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590021003 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅲ (2K25・26) German III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 403	
対象学生(クラス等) 2K25・26	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 清原 明代 / kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp / (非常勤) / / 授業前後の休み時間。またはEメールにて。			
担当教員	清原 明代		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい:一年次に学習したドイツ語の基礎を使いこなし、辞書を用いればある程度長い文章の読解もできるようになること、また、作文と会話においては、自分自身に関する内容を平易な文で表現できるようになることを目指します。さらに、ドイツ語圏の文化を知ることを通じて〈異文化〉への理解を深めると同時に、自国の文化や言語に対する関心、ひいては〈世界〉に対する関心を高めていってほしいと思います。</p> <p>授業方法(学習指導法):教科書に沿って文法の復習と練習問題、会話や作文の練習、読解を行います。また、各課のコラム内容に関連した追加資料を配り、文化的な知識を増やすとともに、やや複雑なドイツ語の読解にも挑戦してゆきます。一年次に学習していない文法事項についてはその都度説明します。</p> <p>到達目標:日常的なレベルのドイツ語で書かれた文章を理解できるようになること。その際内容だけではなく文法的にも説明できるようになること。また、自分自身についてドイツ語で簡単な表現ができるようになること。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>教科書の一課につき三回の授業を割り当て、前期は第5課まで進みます。</p> <p>それぞれ、一回目は文法の復習と練習問題、簡単な会話の練習を行い、二回目に教科書のテキスト読解と独作文、三回目に追加資料を用いて、やや複雑な文章の読解に挑戦します。問題の答え合わせや読解に際しては、学生を指名して質問に答えてもらいます。分からなければヒントを出して誘導するので、間違いを恐れずに積極的に授業に参加してください。</p> <p>また、第二回目以降は毎回授業の始めに小テストを実施します。</p> <p>第16回 8月3日 定期試験</p> <p>第1回 4月13日 オリエンテーション 第一課 規則動詞の現在人称変化等</p> <p>第2回 4月20日 第一課 読解 作文：自己紹介</p> <p>第3回 4月27日 第一課 マーラー ヴィトゲンシュタイン 等</p> <p>第4回 5月11日 第二課 名詞の性、数、格等 会話：趣味</p> <p>第5回 5月18日 第二課 読解 作文：家族</p> <p>第6回 5月25日 第二課 ゲーテ ケプラー 等</p> <p>第7回 6月 1日 第三課 不規則動詞の現在人称変化等 会話：外出</p> <p>第8回 6月 8日 第三課 読解 作文：出身地</p> <p>第9回 6月15日 第三課 ジャポニズム ウィーン分離派 等</p> <p>第10回 6月22日 第四課 名詞の複数形等 会話：買い物</p> <p>第11回 6月29日 第四課 読解 作文：願望(接続法第二式)</p> <p>第12回 7月 6日 第四課 アインシュタイン 『西洋の没落』 等</p> <p>第13回 7月13日 第五課 前置詞等 会話：道を尋ねる</p> <p>第14回 7月20日 第五課 読解 作文：大学への行き方</p> <p>第15回 7月27日 第五課 『ファウスト』 アルテンベルク 等</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書『ドイツ語 プラークヴォ! プラスアルファ』朝日出版社 その他適宜プリントを配布する。		
成績評価の方法・基準等	定期試験70% 小テスト15% 授業態度15%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 火3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590021004 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅲ (2T21A～22A) German III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 403	
対象学生(クラス等) 2T21A～22A	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 清原 明代 / kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp / (非常勤) / / 授業前後の休み時間。またはEメールにて。			
担当教員	清原 明代		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい:一年次に学習したドイツ語の基礎を使いこなし、辞書を用いればある程度長い文章の読解もできるようになること、また、作文と会話においては、自分自身に関する内容を平易な文で表現できるようになることを目指します。さらに、ドイツ語圏の文化を知ることを通じて〈異文化〉への理解を深めると同時に、自国の文化や言語に対する関心、ひいては〈世界〉に対する関心を高めていってほしいと思います。</p> <p>授業方法(学習指導法):教科書に沿って文法の復習と練習問題、会話や作文の練習、読解を行います。また、各課のコラム内容に関連した追加資料を配り、文化的な知識を増やすとともに、やや複雑なドイツ語の読解にも挑戦してゆきます。一年次に学習していない文法事項についてはその都度説明します。</p> <p>到達目標:日常的なレベルのドイツ語で書かれた文章を理解できるようになること。その際内容だけではなく文法的にも説明できるようになること。また、自分自身についてドイツ語で簡単な表現ができるようになること。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>教科書の一課につき三回の授業を割り当て、前期は第5課まで進みます。</p> <p>それぞれ、一回目は文法の復習と練習問題、簡単な会話の練習を行い、二回目に教科書のテキスト読解と独作文、三回目に追加資料を用いて、やや複雑な文章の読解に挑戦します。問題の答え合わせや読解に際しては、学生を指名して質問に答えてもらいます。分からなければヒントを出して誘導するので、間違いを恐れずに積極的に授業に参加してください。</p> <p>また、第二回目以降は毎回授業の始めに小テストを実施します。</p> <p>第16回 8月3日 定期試験</p> <p>第1回 4月13日 オリエンテーション 第一課 規則動詞の現在人称変化等</p> <p>第2回 4月20日 第一課 読解 作文：自己紹介</p> <p>第3回 4月27日 第一課 マーラー ヴィトゲンシュタイン 等</p> <p>第4回 5月11日 第二課 名詞の性、数、格等 会話：趣味</p> <p>第5回 5月18日 第二課 読解 作文：家族</p> <p>第6回 5月25日 第二課 ゲーテ ケプラー 等</p> <p>第7回 6月1日 第三課 不規則動詞の現在人称変化等 会話：外出</p> <p>第8回 6月8日 第三課 読解 作文：出身地</p> <p>第9回 6月15日 第三課 ジャポニズム ウィーン分離派 等</p> <p>第10回 6月22日 第四課 名詞の複数形等 会話：買い物</p> <p>第11回 6月29日 第四課 読解 作文：願望(接続法第二式)</p> <p>第12回 7月6日 第四課 アインシュタイン 『西洋の没落』 等</p> <p>第13回 7月13日 第五課 前置詞等 会話：道を尋ねる</p> <p>第14回 7月20日 第五課 読解 作文：大学への行き方</p> <p>第15回 7月27日 第五課 『ファウスト』 アルテンベルク 等</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書『ドイツ語 プラークヴォ! プラスアルファ』朝日出版社 その他適宜プリントを配布する。		
成績評価の方法・基準等	定期試験70% 小テスト15% 授業態度15%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 火4 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590021005 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅲ (2T22B～23B) German III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 403	
対象学生(クラス等) 2T22B～23B	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 清原 明代 / kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp / (非常勤) / / 授業前後の休み時間。またはEメールにて。			
担当教員	清原 明代		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 一年次に学習したドイツ語の基礎を使いこなし、辞書を用いればある程度長い文章の読解もできるようになること、また、作文と会話においては、自分自身に関する内容を平易な文で表現できるようになることを目指します。さらに、ドイツ語圏の文化を知ることを通じて〈異文化〉への理解を深めると同時に、自国の文化や言語に対する関心、ひいては〈世界〉に対する関心を高めていってほしいと思います。 授業方法(学習指導法): 教科書に沿って文法の復習と練習問題、会話や作文の練習、読解を行います。また、各課のコラム内容に関連した追加資料を配り、文化的な知識を増やすとともに、やや複雑なドイツ語の読解にも挑戦してゆきます。一年次に学習していない文法事項についてはその都度説明します。 到達目標: 日常的なレベルのドイツ語で書かれた文章を理解できるようになること。その際内容だけではなく文法的にも説明できるようになること。また、自分自身についてドイツ語で簡単な表現ができるようになること。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 教科書の一課につき三回の授業を割り当て、前期は第5課まで進みます。 それぞれ、一回目は文法の復習と練習問題、簡単な会話の練習を行い、二回目に教科書のテキスト読解と独作文、三回目に追加資料を用いて、やや複雑な文章の読解に挑戦します。問題の答え合わせや読解に際しては、学生を指名して質問に答えてもらいます。分からなければヒントを出して誘導するので、間違いを恐れずに積極的に授業に参加してください。 また、第二回目以降は毎回授業の始めに小テストを実施します。 第16回 8月3日 定期試験 第1回 4月13日 オリエンテーション 第一課 規則動詞の現在人称変化等 第2回 4月20日 第一課 読解 作文：自己紹介 第3回 4月27日 第一課 マーラー ヴィトゲンシュタイン 等 第4回 5月11日 第二課 名詞の性、数、格等 会話：趣味 第5回 5月18日 第二課 読解 作文：家族 第6回 5月25日 第二課 ゲーテ ケプラー 等 第7回 6月1日 第三課 不規則動詞の現在人称変化等 会話：外出 第8回 6月8日 第三課 読解 作文：出身地 第9回 6月15日 第三課 ジャポニズム ウィーン分離派 等 第10回 6月22日 第四課 名詞の複数形等 会話：買い物 第11回 6月29日 第四課 読解 作文：願望(接続法第二式) 第12回 7月6日 第四課 アインシュタイン 『西洋の没落』 等 第13回 7月13日 第五課 前置詞等 会話：道を尋ねる 第14回 7月20日 第五課 読解 作文：大学への行き方 第15回 7月27日 第五課 『ファウスト』 アルテンベルク 等			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書『ドイツ語 プラークヴォ! プラスアルファ』朝日出版社 その他適宜プリントを配布する。		
成績評価の方法・基準等	定期試験70% 小テスト15% 授業態度15%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 金2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590021007 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅲ (2L1～2・2F27～28) German III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) 2L1・2、2F27・28	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 古賀 正之 / / 非常勤講師控室 / 095-819-2078(全学教育事務室) / 金曜日休み時間(教室のみ)			
担当教員	古賀 正之		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 現代のドイツは拡大するEU(ヨーロッパ連合)の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識および理解を深めていきます。 授業方法(学習指導法): 学習者同士による口頭表現練習と発表、さらに練習問題の反復によって基本単語とキーセンテンスを身につけること。また、ビデオ学習(内容についてのレポート提出を含む)を行います。 到達目標: ドイツ語Ⅱまでに学んだ初級文法の知識を定着させるとともに、実際にそれを活用し、日常生活の各場面に応じた会話を行ったり、知っている範囲の限られた単語や表現でも、それを手掛りに短い文章の意味を把握できるようになること。さらにドイツ語圏の社会と文化をより幅広く説明できるようになることです。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) ドイツ語Ⅱまでの既習者を対象に、各回ごとのスケッチ(キーセンテンスを中心に作られたモノログやダイアログ)及び表現の基礎となる文法事項に即して自分の意思・意見を相手に伝え、同時に相手から情報を得る練習を行います。また、適宜ビデオ学習を行います 授業内容(毎週の授業内容を含む) この授業で使用する教科書は12課から成っており、ドイツ語Ⅲでは前半6課までを終了する予定です。各課とも1課あたり6ページで、その構成は次のとおりです。 1ページ 問題発見コーナーと語彙 2～3ページ キーセンテンス、文法と表現、スケッチ練習 4～6ページ スケッチ、パートナー学習、練習(基礎練習、応用練習) 第6課終了後に、まとめと復習のページがあります。第1回目の授業は4月16日に始まり、第14回目の授業(7月16日)まで1課あたり2回、場合により3回の授業を充当します。第15回(7月23日)はまとめと復習、第16回(8月6日)は定期試験を実施します。			
(成績評価の方法・基準等の補足) ○1. 定期試験の成績(40%)、2. レポート(10%)、3. 毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。具体的には、1. 各自当学期15回までの授業で学んだ会話表現や文法事項を覚え、それらを含むテキストを聞き取り、正しく書けるかどうか、また、同時にその内容を把握し、簡潔に記述できるかどうか、2. ビデオで取り上げられた内容について、自分の知識や経験に基づいて、説得力のある的確な意見を示せるかどうか、3. 各回ごとに取り扱う場面にふさわしい会話表現を覚え、表現の基礎となる文法を理解し、それをを用いて意思の疎通ができるかどうか、という観点から成績を評価します。			
キーワード	パートナー練習・個別指導・聞き取り練習・ビデオ学習		
教科書・教材・参考書	[教科書] CD付き モデル1 問題発見のドイツ語 リスラント/藁谷他 三修社		
成績評価の方法・基準等	○1. 定期試験の成績(40%)、2. レポート(10%)、3. 毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。 (具体は授業内容欄に記載)		
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 /それによって新たな知的視野を広げること。		
備考(準備学習等)	次回の授業で用いる会話表現の意味を調べ、覚えておくことが望ましい。		

2010年度 前期	曜日・校時 金2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590021006 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅲ (2P18・19) German III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 301	
対象学生(クラス等) 2P18・19	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 目 正勝 / mksakka@xqb.biglobe.ne.jp / 非常勤講師室 / 096-322-0277 / mksakka@xqb.biglobe.ne.jp			
担当教員	目 正勝		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: ドイツ語文法の基礎をさらに確実なものにして、応用段階へと進む。 多くのドイツ語文を読んで、読解力や語彙を身につける。また、正しい発音で文章を朗読することができるようになること。 ドイツの歴史や文化への理解を深める。 授業方法(学習指導法): 様々な散文、物語文のドイツ語を読む。 年間を通じて2冊のテキストを使う。前期15回と後期の最初の数回は中級ドイツ語への橋渡しのもの、文法の再確認と平易なドイツ語文章の読解を内容としている。その後、19世紀の作家ベヒシュタインの童話数編を読む。 教室では毎回4～5人の人に和訳をしてもらう。前もって割り当てておくので、当たった人はよく調べてこななければならない。 また、独作文の練習問題を通じて、文法の理解を深める。 到達目標: 報告文、物語文など、現代ドイツ語の文章で特に難解なものでなければ、辞書を引きながらでも読むことができるまでに力をつけること。また、簡単な作文がドイツ語で書けること。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 前期はテキスト「体験するドイツ語」を読んでゆく。 テキストは1課8ページ、全9課から成っている。2回の授業で1課を終えるペースで進む。 それぞれの課の本文を、前もって当てておいた4～5人の人に訳してもらう。本文の後にある文法練習や本文の内容についての読解問題についても、できるだけ多くの人に答えを発表する機会があるようにする。 テキストはとくに独作文、ドイツ語表現に重点を置いている。 折に触れてレポートを課す。 第16回目(8月6日)に前期末の試験を行う。 第1回 4月16日 第一課、Text、名詞の合成、不定代名詞。 第2回 4月23日 第一課の続き、関係代名詞、Kaffeepause。 第3回 4月30日 第二課、Text、接続法第二式。 第4回 5月7日 第二課の続き、比較級、最高級、Kaffeepause。 第5回 5月14日 第三課、Text、分詞。 第6回 5月21日 第三課の続き、受動、Kaffeepause。 第7回 5月28日 第四課、Text、複合動詞。 第8回 6月4日 第四課の続き、再帰動詞、Kaffeepause。 第9回 6月11日 第五課、Text、三種類の過去。 第10回 6月18日 第五課の続き、形容詞の格変化、Kaffeepause。 第11回 6月25日 第六課、Text、間接疑問文。 第12回 7月2日 第六課の続き、Duzen oder siezen、Kaffeepause。 第13回 7月9日 第七課、Text、機能動詞。 第14回 7月16日 第七課の続き、Goethe und Weimar、Kaffeepause。 第15回 7月23日 第八課、Text、zu 不定詞。			
キーワード			
教科書・教材・参考書	「体験するドイツ語」 須澤 通、Elisabeth Schmidt, 浜 泰子 著、郁文堂 「美女と野獣」 稲村道嘉 編 同学社 (二冊のテキストを使用する)		
成績評価の方法・基準等	定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。		
受講要件(履修条件)	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 金3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590021008 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅲ (2E5～10) German III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) 2E5～10	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 古賀 正之 / / 非常勤講師控室 / 095-819-2078(全学教育事務室) / 金曜日休み時間(教室のみ)			
担当教員	古賀 正之		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 現代のドイツは拡大するEU(ヨーロッパ連合)の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識および理解を深めていきます。 授業方法(学習指導法): 学習者同士による口頭表現練習と発表、さらに練習問題の反復によって基本単語とキーセンテンスを身につけること。また、ビデオ学習(内容についてのレポート提出を含む)を行います。 到達目標: ドイツ語Ⅱまでに学んだ初級文法の知識を定着させるとともに、実際にそれを活用し、日常生活の各場面に応じた会話を行ったり、知っている範囲の限られた単語や表現でも、それを手掛りに短い文章の意味を把握できるようになること。さらにドイツ語圏の社会と文化をより幅広く説明できるようになることです。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) ドイツ語Ⅱまでの既習者を対象に、以下に示す各回ごとのテーマ(及び表現の基礎となる文法事項)に即して自分の意思・意見を相手に伝え、同時に相手から情報を得る練習を行います。また、適宜ビデオ学習を行います。 第16回(8月6日) 定期試験を実施 (成績評価の方法・基準等の補足) ○1. 定期試験の成績(40%)、2. レポート(10%)、3. 毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。具体的には、1. 各自当学期15回までの授業で学んだ会話表現や文法事項を覚え、それらを含むテキストを聞き取り 第1回 4月16日 挨拶、姓名、出身地、住所及び年齢を尋ね、それに答える。(ドイツ語Ⅱまでの復習) 第2回 4月23日 〃 第3回 4月30日 〃 第4回 5月7日 国々、大陸、方位、首都、国語、メール・アドレスを尋ね、それに答える。 さらに健康状態、専門科目、趣味など。 第5回 5月14日 〃 第6回 5月21日 〃 第7回 5月28日 〃 第8回 6月4日 様々な活動、休暇中の計画、週末の計画について語る。他に週日などについても。 第9回 6月11日 〃 第10回 6月18日 〃 第11回 6月25日 〃 第12回 7月2日 フランクフルトにて。空港でパスポートの検査を受けたり、店で値段を尋ねたり、駅で切符を買ったりする。 第13回 7月9日 〃 第14回 7月16日 〃 第15回 7月23日 〃			
キーワード	パートナー練習・個別指導・聞き取り練習・ビデオ学習		
教科書・教材・参考書	ブラウン/プロイクシャート/平山 『ドイツへ行こう!』 同学社		
成績評価の方法・基準等	○1. 定期試験の成績(40%)、2. レポート(10%)、3. 毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。 (具体は授業内容欄に記載)		
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 /それによって新たな知的視野を広げること。		
備考(準備学習等)	次の授業で用いる会話表現の意味を調べ、覚えておくことが望ましい。		

2010年度 後期	曜日・校時 月2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590023001 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅳ (2M11・12) German IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 302	
対象学生(クラス等) 2M11・12	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 山下 哲雄 / yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp / 非常勤講師控室 / 12校時後の昼休み、3校時後の休み時間			
担当教員	山下 哲雄		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ人の会話を通して知る。 授業方法(学習指導法): 会話の中に出る初級文法の復習をし、会話内容を理解し、滑らかに発話できるように発音練習をする。 到達目標: 学生がこの授業でドイツの生活・文化を理解し、ドイツに興味を持ち、ドイツへ留学したいと思えるようになること。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) ドイツでの日常生活の各場面に基づく会話を、自分の生活環境に置き換え、身近な言葉にして言語の習得を実現する。 16回目 2月4日 定期試験 第1回 10/1 第1回 パーティーには何を着ますか。 第2回 10/8 第2回 この白いワンピースをどう思いますか 第3回 10/15 第3回 このゴミはどこに捨てますか 第4回 10/22 第4回 ドイツの学校の環境プロジェクト 第5回 10/29 第5回 ここで犬を放してはいけません 第6回 11/5 第6回 何歳になれば、何ができますか 第7回 11/12 第7回 ドイツの義務教育は何年ですか 第8回 11/26 第8回 パン屋になるためには、大学へ行く必要はありません 第9回 12/3 第9回 ドイツの学校 第10回 12/10 第10回 復活祭には何をしますか 第11回 12/17 第11回 ドイツの祭りと祝日 第12回 12/24 第12回 カーニバル 第13回 1/7 第13回 ドイツと日本の年末年始 第14回 1/21 第14回 「アドヴェント」とはどういう意味ですか 第15回 1/28 第15回 ビデオでドイツを見る			
キーワード			
教科書・教材・参考書	『スツェーネン 2』場面で学ぶドイツ語 著者： 佐藤修子 他、(株)三修社		
成績評価の方法・基準等	小テスト(40%)、定期試験(50%)、授業中の発音・和訳・積極性(10%)		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 月3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590023002 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅳ (2D16～17・2T20A～20B) German IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 302	
対象学生(クラス等) 2D16・17、2T20A～20B	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 山下 哲雄 / yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp / 非常勤講師控室 / 12校時後の昼休み、3校時後の休み時間			
担当教員	山下 哲雄		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ人の会話を通して知る。 授業方法(学習指導法): 会話の中に出る初級文法の復習をし、会話内容を理解し、滑らかに発話できるように発音練習をする。 到達目標: 学生がこの授業でドイツの生活・文化を理解し、ドイツに興味を持ち、ドイツへ留学したいと思えるようになること。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) ドイツでの日常生活の各場面に基づく会話を、自分の生活環境に置き換え、身近な言葉にして言語の習得を実現する。 16回目 2月4日 定期試験 第1回 10/1 第1回 パーティーには何を着ますか。 第2回 10/8 第2回 この白いワンピースをどう思いますか 第3回 10/15 第3回 このゴミはどこに捨てますか 第4回 10/22 第4回 ドイツの学校の環境プロジェクト 第5回 10/29 第5回 ここで犬を放してはいけません 第6回 11/5 第6回 何歳になれば、何ができますか 第7回 11/12 第7回 ドイツの義務教育は何年ですか 第8回 11/26 第8回 パン屋になるためには、大学へ行く必要はありません 第9回 12/3 第9回 ドイツの学校 第10回 12/10 第10回 復活祭には何をしますか 第11回 12/17 第11回 ドイツの祭りと祝日 第12回 12/24 第12回 カーニバル 第13回 1/7 第13回 ドイツと日本の年末年始 第14回 1/21 第14回 「アドヴェント」とはどういう意味ですか 第15回 1/28 第15回 ビデオでドイツを見る			
キーワード			
教科書・教材・参考書	『スツェーネン 2』場面学ぶドイツ語 著者： 佐藤修子 他、(株)三修社		
成績評価の方法・基準等	小テスト (40%)、定期試験 (50%)、授業中の発音・和訳・積極性(10%)		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 火2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590023003 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅳ (2K25・26) German IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 403	
対象学生(クラス等) 2K25・26	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 清原 明代 / kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp / (非常勤) / / 授業前後の休み時間。またはEメールにて。			
担当教員	清原 明代		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 一年次に学習したドイツ語の基礎を使いこなし、辞書を用いればある程度長い文章の読解もできるようになること、また、作文と会話においては、自分自身に関する内容を平易な文で表現できるようになることを目指します。さらに、ドイツ語圏の文化を知ることを通じて〈異文化〉への理解を深めると同時に、自国の文化や言語に対する関心、ひいては〈世界〉に対する関心を高めていってほしいと思います。 授業方法(学習指導法): 教科書に沿って文法の復習と練習問題、会話や作文の練習、読解を行います。また、各課のコラム内容に関連した追加資料を配り、文化的な知識を増やすとともに、やや複雑なドイツ語の読解にも挑戦してゆきます。一年次に学習していない文法事項についてはその都度説明します。 到達目標: 日常的なレベルのドイツ語で書かれた文章を理解できるようになること。その際内容だけではなく文法的にも説明できるようになること。また、自分自身についてドイツ語で簡単な表現ができるようになること。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 前期同様教科書の一課につき三回の授業を割り当て、後期は第6課から始めます。 それぞれ、一回目は文法の復習と練習問題、簡単な会話の練習を行い、二回目に教科書のテキスト読解と独作文、三回目に追加資料を用いて、やや複雑な文章の読解に挑戦します。問題の答え合わせや読解に際しては、学生を指名して質問に答えてもらいます。分からなければヒントを出して誘導するので、間違いを恐れずに積極的に授業に参加してください。 毎回授業の始めに小テストを実施します。 第16回 2月8日 定期試験 第1回 10月5日 第六課 助動詞 接続詞 等 会話:依頼、勧誘 第2回 10月12日 第六課 読解 作文:長崎について 第3回 10月19日 第六課 哲学 カント 等 第4回 10月26日 第七課 形容詞 zu 不定詞 等 会話:レストラン 第5回 11月2日 第七課 読解 作文:食事 第6回 11月9日 第七課 演劇 プレヒト 等 第7回 11月16日 第八課 動詞の三基本形 過去人称変化 等 会話:旅行 第8回 11月30日 第八課 読解 作文:海外旅行 第9回 12月7日 第八課 教育学 ベスタロッツ 等 第10回 12月14日 第十課 比較 関係代名詞等 第11回 12月21日 第十課 読解 ドイツのクリスマスについて 第12回 1月11日 第九課 完了形 分離動詞 等 会話:昨日のことについて 第13回 1月18日 第九課 読解 作文:自分の好きなものについて 第14回 1月25日 第九課 社会学 ヴェーバー 等 第15回 2月1日 復習 補足			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書『ドイツ語 プラスアルファ!』朝日出版社 その他適宜プリントを配布する。		
成績評価の方法・基準等	定期試験70% 小テスト15% 授業態度15%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 火3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590023004 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅳ (2T21A～22A) German IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 403	
対象学生(クラス等) 2T21A～22A	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 清原 明代 / kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp / (非常勤) / / 授業前後の休み時間。またはEメールにて。			
担当教員	清原 明代		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 一年次に学習したドイツ語の基礎を使いこなし、辞書を用いればある程度長い文章の読解もできるようになること、また、作文と会話においては、自分自身に関する内容を平易な文で表現できるようになることを目指します。さらに、ドイツ語圏の文化を知ることを通じて〈異文化〉への理解を深めると同時に、自国の文化や言語に対する関心、ひいては〈世界〉に対する関心を高めていってほしいと思います。 授業方法(学習指導法): 教科書に沿って文法の復習と練習問題、会話や作文の練習、読解を行います。また、各課のコラム内容に関連した追加資料を配り、文化的な知識を増やすとともに、やや複雑なドイツ語の読解にも挑戦してゆきます。一年次に学習していない文法事項についてはその都度説明します。 到達目標: 日常的なレベルのドイツ語で書かれた文章を理解できるようになること。その際内容だけではなく文法的にも説明できるようになること。また、自分自身についてドイツ語で簡単な表現ができるようになること。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 前期同様教科書の一課につき三回の授業を割り当て、後期は第6課から始めます。 それぞれ、一回目は文法の復習と練習問題、簡単な会話の練習を行い、二回目に教科書のテキスト読解と独作文、三回目に追加資料を用いて、やや複雑な文章の読解に挑戦します。問題の答え合わせや読解に際しては、学生を指名して質問に答えてもらいます。分からなければヒントを出して誘導するので、間違いを恐れずに積極的に授業に参加してください。 毎回授業の始めに小テストを実施します。 第16回 2月8日 定期試験 第1回 10月5日 第六課 助動詞 接続詞 等 会話: 依頼、勧誘 第2回 10月12日 第六課 読解 作文: 長崎について 第3回 10月19日 第六課 哲学 カント 等 第4回 10月26日 第七課 形容詞 zu 不定詞 等 会話: レストラン 第5回 11月2日 第七課 読解 作文: 食事 第6回 11月9日 第七課 演劇 プレヒト 等 第7回 11月16日 第八課 動詞の三基本形 過去人称変化 等 会話: 旅行 第8回 11月30日 第八課 読解 作文: 海外旅行 第9回 12月7日 第八課 教育学 ベスタロッツ 等 第10回 12月14日 第十課 比較 関係代名詞等 第11回 12月21日 第十課 読解 ドイツのクリスマスについて 第12回 1月11日 第九課 完了形 分離動詞 等 会話: 昨日のことについて 第13回 1月18日 第九課 読解 作文: 自分の好きなものについて 第14回 1月25日 第九課 社会学 ヴェーバー 等 第15回 2月1日 復習 補足			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書『ドイツ語 プラスアルファ!』朝日出版社 その他適宜プリントを配布する。		
成績評価の方法・基準等	定期試験70% 小テスト15% 授業態度15%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 火4 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590023005 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅳ (2T22B～23B) German IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 403	
対象学生(クラス等) 2T22B～23B	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 清原 明代 / kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp / (非常勤) / / 授業前後の休み時間。またはEメールにて。			
担当教員	清原 明代		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 一年次に学習したドイツ語の基礎を使いこなし、辞書を用いればある程度長い文章の読解もできるようになること、また、作文と会話においては、自分自身に関する内容を平易な文で表現できるようになることを目指します。さらに、ドイツ語圏の文化を知ることを通じて〈異文化〉への理解を深めると同時に、自国の文化や言語に対する関心、ひいては〈世界〉に対する関心を高めていってほしいと思います。 授業方法(学習指導法): 教科書に沿って文法の復習と練習問題、会話や作文の練習、読解を行います。また、各課のコラム内容に関連した追加資料を配り、文化的な知識を増やすとともに、やや複雑なドイツ語の読解にも挑戦してゆきます。一年次に学習していない文法事項についてはその都度説明します。 到達目標: 日常的なレベルのドイツ語で書かれた文章を理解できるようになること。その際内容だけではなく文法的にも説明できるようになること。また、自分自身についてドイツ語で簡単な表現ができるようになること。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 前期同様教科書の一課につき三回の授業を割り当て、後期は第6課から始めます。 それぞれ、一回目は文法の復習と練習問題、簡単な会話の練習を行い、二回目に教科書のテキスト読解と独作文、三回目に追加資料を用いて、やや複雑な文章の読解に挑戦します。問題の答え合わせや読解に際しては、学生を指名して質問に答えてもらいます。分からなければヒントを出して誘導するので、間違いを恐れずに積極的に授業に参加してください。 毎回授業の始めに小テストを実施します。 第16回 2月8日 定期試験 第1回 10月5日 第六課 助動詞 接続詞 等 会話: 依頼、勧誘 第2回 10月12日 第六課 読解 作文: 長崎について 第3回 10月19日 第六課 哲学 カント 等 第4回 10月26日 第七課 形容詞 zu 不定詞 等 会話: レストラン 第5回 11月2日 第七課 読解 作文: 食事 第6回 11月9日 第七課 演劇 プレヒト 等 第7回 11月16日 第八課 動詞の三基本形 過去人称変化 等 会話: 旅行 第8回 11月30日 第八課 読解 作文: 海外旅行 第9回 12月7日 第八課 教育学 ベスタロッツ 等 第10回 12月14日 第十課 比較 関係代名詞等 第11回 12月21日 第十課 読解 ドイツのクリスマスについて 第12回 1月11日 第九課 完了形 分離動詞 等 会話: 昨日のことについて 第13回 1月18日 第九課 読解 作文: 自分の好きなものについて 第14回 1月25日 第九課 社会学 ヴェーバー 等 第15回 2月1日 復習 補足			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書『ドイツ語 プラスアルファ!』朝日出版社 その他適宜プリントを配布する。		
成績評価の方法・基準等	定期試験70% 小テスト15% 授業態度15%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 金2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590023007 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅳ (2L1～2・2F27～28) German IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) 2L1・2、2F27・28	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 古賀 正之 / / 非常勤講師控室 / 095-819-2078(全学教育事務室) / 金曜日休み時間(教室のみ)			
担当教員	古賀 正之		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 現代のドイツは拡大するEU(ヨーロッパ連合)の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識および理解を深めていきます。 授業方法(学習指導法): 学習者同士による口頭表現練習と発表、さらに練習問題の反復によって基本単語とキーセンテンスを身につけること。また、ビデオ学習(内容についてのレポート提出を含む)を行います。 到達目標: ドイツ語Ⅲまでに学んだ初級文法の知識を定着させるとともに、実際にそれを活用し、日常生活の各場面に応じた会話を行ったり、知っている範囲の限られた単語や表現でも、それを手掛りに短い文章の意味を把握できるようになること。さらにドイツ語圏の社会と文化をより幅広く説明できるようになることです。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) ドイツ語Ⅲまでの既習者を対象に、各回ごとのスケッチ(キーセンテンスを中心に作られたモノログやダイアログ)及び表現の基礎となる文法事項に即して自分の意思・意見を相手に伝え、同時に相手から情報を得る練習を行います。また、適宜ビデオ学習を行います 授業内容(毎週の授業内容を含む) この授業で使用する教科書は12課から成っており、ドイツ語Ⅳでは後半12課までを終了する予定です。各課とも1課あたり6ページで、その構成は次のとおりです。 1ページ 問題発見コーナーと語彙 2～3ページ キーセンテンス、文法と表現、スケッチ練習 4～6ページ スケッチ、パートナー学習、練習(基礎練習、応用練習) 第12課終了後に、まとめと復習のページがあります。第1回目の授業は10月1日に始まり、第14回目の授業(1月21日)まで1課あたり2回、場合により3回の授業を充当します。第15回(1月28日)はまとめと復習、第16回(2月4日)は定期試験を実施します。			
(成績評価の方法・基準等の補足) ○1. 定期試験の成績(40%)、2. レポート(10%)、3. 毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。具体的には、1. 各自当学期15回までの授業で学んだ会話表現や文法事項を覚え、それらを含むテキストを聞き取り、正しく書けるかどうか、また、同時にその内容を把握し、簡潔に記述できるかどうか、2. ビデオで取り上げられた内容について、自分の知識や経験に基づいて、説得力のある確かな意見を示せるかどうか、3. 各回ごとに取り扱う場面にふさわしい会話表現を覚え、表現の基礎となる文法を理解し、それをを用いて意思の疎通ができるかどうか、という観点から成績を評価します。			
キーワード	パートナー練習・個別指導・聞き取り練習・ビデオ学習		
教科書・教材・参考書	[教科書] CD付き モデル1 問題発見のドイツ語 リスラント/藁谷他 三修社		
成績評価の方法・基準等	○1. 定期試験の成績(40%)、2. レポート(10%)、3. 毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。 (具体は授業内容欄に記載)		
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 /それによって新たな知的視野を広げること。		
備考(準備学習等)	次回の授業で用いる会話表現の意味を調べ、覚えておくことが望ましい。		

2010年度 後期	曜日・校時 金2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590023006 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅳ (2P18・19) German IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) 2P18・19	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 目 正勝 / mksakka@xqb.biglobe.ne.jp / 非常勤講師室 / 096-322-0277 / mksakka@xqb.biglobe.ne.jp			
担当教員	目 正勝		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: ドイツ語文法の基礎をさらに確実なものにして、応用段階へと進む。 多くのドイツ語文を読んで、読解力や語彙を身につける。また、正しい発音で文章を朗読することができるようになること。 ドイツの歴史や文化への理解を深める。 授業方法(学習指導法): 様々な散文、物語文のドイツ語を読む。 年間を通じて2冊のテキストを使う。前期15回と後期の最初の数回は中級ドイツ語への橋渡しのもの、文法の再確認と平易なドイツ語文章の読解を内容としている。その後、19世紀の作家ベヒシュタインの童話数編を読む。 教室では毎回4～5人の人に和訳をしてもらう。前もって割り当てておくので、当たった人はよく調べてこななければならない。 また、独作文の練習問題を通じて、文法の理解を深める。 到達目標: 報告文、物語文など、現代ドイツ語の文章で特に難解なものでなければ、辞書を引きながらでも読むことができるまでに力をつけること。また、簡単な作文がドイツ語で書けること。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 前期のテキストの続きを、後期の最初、数回の授業で終える。 続いて、ベヒシュタインの再話、「美女と野獣」と「白雪姫」を読んでゆく。1回の授業で1ページ半ぐらいのペースで進む。毎回、前もって4～5人の人に割り当てておくので、よく調べて来なければならない。 文法の重要事項について適宜解説や練習問題を加える。 折に触れてレポートを課す。 接続法に重点を置く。 第16回目(2月4日)に後期末の試験を行う。 第1回 10月1日 第八課の続き、Das Gesundheitswesen、Kaffeepause。 第2回 10月8日 第九課、Text、間接話法。 第3回 10月15日 第九課の続き、不定関係代名詞、Kaffeepause。 第4回 10月22日 「美女と野獣」1～2ページ。 第5回 10月29日 「美女と野獣」2～4ページ。 第6回 11月5日 「美女と野獣」4～5ページ。 第7回 11月12日 「美女と野獣」6～7ページ、適宜文法練習問題(プリント)。 第8回 11月26日 「白雪姫」8～9ページ。 第9回 12月3日 「白雪姫」10～11ページ。 第10回 12月10日 「白雪姫」12～13ページ。 第11回 12月17日 「白雪姫」14～15ページ、適宜文法練習問題(プリント)。 第12回 12月24日 「白雪姫」16～17ページ。 第13回 1月7日 「白雪姫」17～18ページ。 第14回 1月21日 「白雪姫」18～19ページ。 第15回 1月28日 「白雪姫」20～22ページ、適宜文法練習問題(プリント)。			
キーワード			
教科書・教材・参考書	「体験するドイツ語」 須澤 通、Elisabeth Schmidt, 浜 泰子 著、郁文堂 「美女と野獣」 稲村道嘉 編 同学社 (二冊のテキストを使用する)		
成績評価の方法・基準等	定期試験(約90%)、および素素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。		
受講要件(履修条件)	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 金3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590023008 授業科目/(英語名)	●ドイツ語Ⅳ (2E5～10) German IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) 2E5～10	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 古賀 正之 / / 非常勤講師控室 / 095-819-2078(全学教育事務室) / 金曜日休み時間(教室内のみ)			
担当教員	古賀 正之		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい: 現代のドイツは拡大するEU(ヨーロッパ連合)の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識および理解を深めていきます。</p> <p>授業方法(学習指導法): 学習者同士による口頭表現練習と発表、さらに練習問題の反復によって基本単語とキーセンテンスを身につけること。また、ビデオ学習(内容についてのレポート提出を含む)を行います。</p> <p>到達目標: ドイツ語Ⅲまでに学んだ文法の基礎知識を発展させるとともに、実際にそれを活用し、日常生活の各場面に応じた会話を行ったり、知っている範囲の限られた単語や表現でも、それを手掛りに短い文章の意味を把握できるようになること。さらにドイツ語圏の社会と文化をより幅広く説明できるようになることです。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>ドイツ語Ⅲまでの既習者を対象に、以下に示す各回ごとのテーマ(及び表現の基礎となる文法事項)に即して自分の意思・意見を相手に伝え、同時に相手から情報を得る練習を行います。また、適宜ビデオ学習を行います。 (成績評価の方法・基準等の補足)</p> <p>○1. 定期試験の成績(40%)、2. レポート(10%)、3. 毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。具体的には、1. 各自当学期15回までの授業で学んだ会話表現や文法事項を覚え、それらを含むテキストを聞き取り、正しく書けるかどうか、また、同時にその内容を把握し、簡潔に記述できるかどうか、2. ビデオで取り上げられた内容について、自分の知識や経験に基づいて、説得力のある的確な意見を示せるかどうか、3. 各回ごとに取り扱う場面にふさわしい会話表現を覚え、表現の基礎となる文法を理解し、それをを用いて意思の疎通ができるかどうか、という観点から成績を評価します。</p> <p>第1回 10月1日 ケルンにて。タクシーの中で目的地を告げる。ホテルの受け付け係との会話。 カフェでメニューを読み、注文と支払いを済ませる。</p> <p>第2回 10月8日 " "</p> <p>第3回 10月15日 " "</p> <p>第4回 10月22日 " "</p> <p>第5回 10月29日 ハンブルクにて。観光案内所で観光名所について尋ねたり、パンフレットを読んだりする。</p> <p>第6回 11月5日 " "</p> <p>第7回 11月12日 " "</p> <p>第8回 11月26日 ベルリンにて。観光名所について。デパートやフリーマーケットで買い物をする。さらにカーニバルなど。</p> <p>第9回 12月3日 " "</p> <p>第10回 12月10日 " "</p> <p>第11回 12月17日 " "</p> <p>第12回 12月24日 ミュンヘンにて。薬局で薬を買う。映画館でチケットを買う。クリスマスの市について。 サッカー・ブンデスリーガ(連邦リーグ)と順位表。</p> <p>第13回 1月7日 " "</p> <p>第14回 1月21日 " "</p> <p>第15回 1月28日 " "</p> <p>第16回目 2月4日 定期試験</p>			
キーワード	パートナー練習・個別指導・聞き取り練習・ビデオ学習		
教科書・教材・参考書	ブラウン/ブロイクシャート/平山 『ドイツへ行こう』 同学社		
成績評価の方法・基準等	○1. 定期試験の成績(40%)、2. レポート(10%)、3. 毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。 (具体は授業内容欄に記載)		
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 /それによって新たな知的視野を広げること。		
備考(準備学習等)	平素より基本文法確認レポートを自分で調べ、完成させておくことが望ましい。		